

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

＜第51週＞感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-13

＜インフルエンザ＞定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、第51週は7.2であった

＜麻しん＞第51週の報告数は8道府県から46例と2週連続で増加した



病原体情報
P.14-17

インフルエンザウイルス 2007/08シーズン／感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン



速報
P.18

2007/08シーズンのインフルエンザウイルスAH1亜型とAH3亜型の分離－富山県



海外感染症情報
P.19-20

エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況／インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況／パキスタンでの鳥インフルエンザ流行状況／ベトナムでの鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.21

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(51週)
P.22-28



51週のデータ
P.29-41



発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

<第51週コメント> 12月26日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核 299例

3類感染症: 細菌性赤痢 5例

〔感染地域:千葉県1例、国内(都道府県不明)1例、インド1例、インドネシア1例、エジプト1例〕

腸管出血性大腸菌感染症 15例(うち有症者9例、HUSなし)

感染地域:すべて国内

国内の多い感染地域:石川県(3例)、福岡県(3例)*

*うち2例は保育園における集団発生

年齢群:10歳未満(7例)、10代(2例)、20代(1例)、30代(3例)、50代(1例)、60代(1例)

血清型・毒素型:O157 VT1・VT2(8例)、O26 VT1(3例)、O91 VT1(2例)、O157 VT1(1例)、O157 VT2(1例)

4類感染症: つつが虫病 15例

(感染地域:鹿児島県7例、静岡県1例、青森県1例、神奈川県1例、岐阜県1例、島根県1例、広島県1例、大分県1例、神奈川県/静岡県1例)

日本紅斑熱 4例(感染地域:熊本県3例、長崎県1例)

日本脳炎 1例(感染地域:鳥取県)

マラリア 1例(熱帯熱__感染地域:カメルーン)

レジオネラ症 10例(すべて肺炎型)

年齢群:40代3例、50代2例、60代2例、70代1例、80代2例

感染地域:北海道1例、群馬県1例、富山県1例、福井県1例、山梨県1例(温泉)、静岡県1例、愛媛県1例(温泉)、京都府1例、大阪府1例、兵庫県1例

5類感染症: アメーバ赤痢 6例(腸管アメーバ症5例、腸管外アメーバ症1例)

感染地域:すべて国内

感染経路:経口2例、性的接触1例(異性間)、不明3例

ウイルス性肝炎 3例(すべてB型__感染経路:すべて不明)

クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性プリオン病古典型)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例(80代)

後天性免疫不全症候群 12例(AIDS 2例、無症候9例、その他1例)

感染地域:国内11例、国内/タイ/フィリピン1例

感染経路:すべて性的接触(異性間2例、同性間8例、異性間・同性間2例)

ジアルジア症 1例(感染地域:国内)

梅毒 5例(早期顕症I期2例、早期顕症II期3例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

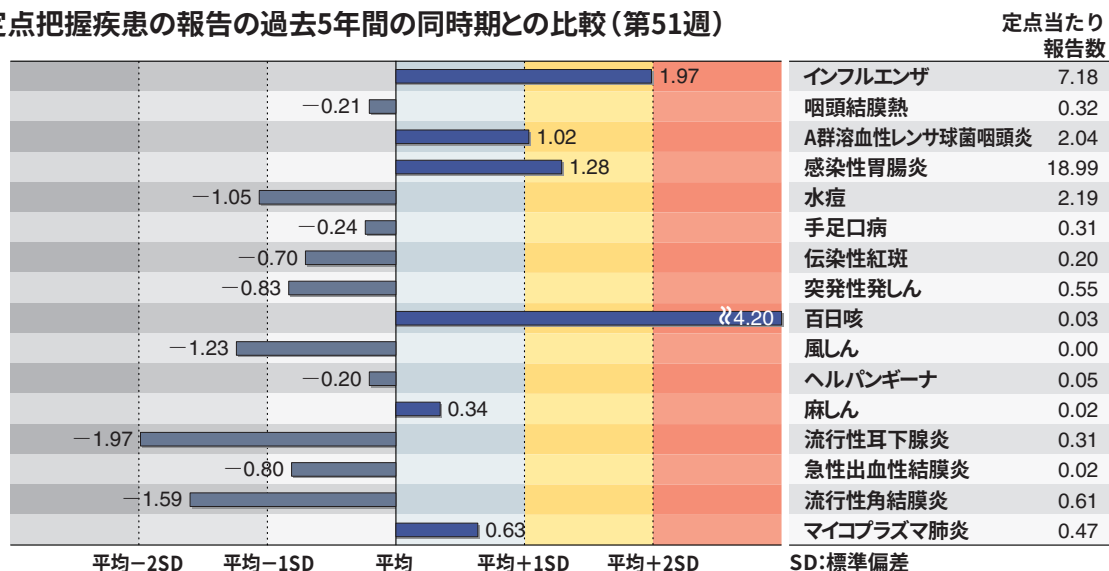
(遺伝子型:VanC__菌検出検体:胆汁)

(補)他に第50週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域:北海道1例、インド1例)、E型肝炎1例(感染地域:北海道、感染源:不明)、Q熱1例(感染地域:茨城県、感染源:イヌ/ハト/コウモリ/ウサギ)、急性脳炎2例〔肺炎球菌1例(40代)、病原体不明1例(1歳)〕、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例(遺伝子型:VanC 1例__菌検出検体:血液、遺伝子型:不明1例__菌検出検体:尿)等の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第51週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

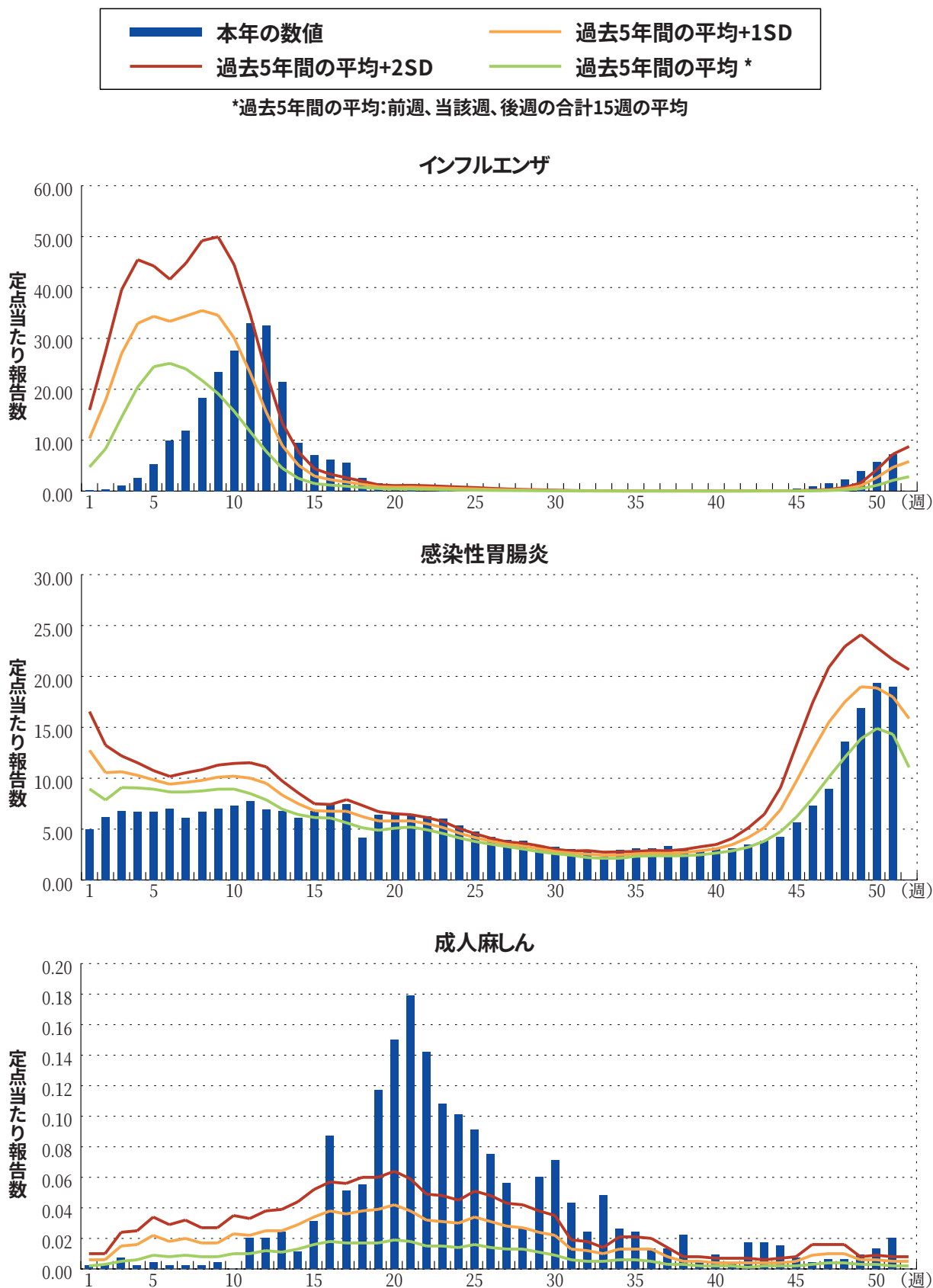
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では青森県(22.3)、和歌山県(19.3)、岡山県(14.5)、北海道(13.6)、兵庫県(13.2)、山梨県(12.9)、千葉県(12.2)、埼玉県(12.1)、静岡県(10.7)が多い。

小児科定点報告疾患: **RSウイルス感染症**は3,620例の報告があり、報告数は第42週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は第44週以降増加が続いている。都道府県別では青森県(1.27)、熊本県(0.77)、新潟県(0.70)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では富山県(4.1)、山口県(3.9)、石川県(3.6)、北海道(3.6)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(36.9)、三重県(29.1)、愛媛県(28.3)、福井県(26.5)、石川県(26.4)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では石川県(5.7)、新潟県(4.1)、宮崎県(3.6)、福島県(3.6)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(1.33)、沖縄県(1.18)、宮崎県(0.94)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は微増した。都道府県別では新潟県(1.33)、秋田県(0.83)、福井県(0.68)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県(0.19)、和歌山県(0.13)、千葉県(0.09)が多い。**風しん**の報告数は減少し、2県から2例の報告があった。都道府県別では岐阜県、福岡県から各1例であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では岩手県(0.28)、熊本県(0.21)、埼玉県(0.14)が多い。**麻しん**の報告数は2週連続で増加し、8道府県から46例の報告があった。都道府県別では北海道24例、神奈川県10例、青森県、大阪府から各3例、岐阜県、福岡県から各2例、埼玉県、千葉県から各1例の順であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では秋田県(1.97)、新潟県(1.16)、宮崎県(0.86)が多い。

基幹定点報告疾患: **マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では福島県(2.29)、宮城県(1.58)、沖縄県(1.57)が多い。**成人麻しん**の報告数は3週連続で増加し、5都道府県から9例の報告があった。都道府県別では、神奈川県4例、北海道2例、秋田県、東京都、福岡県から各1例の順であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～51週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆インフルエンザ

わが国においてインフルエンザ(Influenza)は、例年冬季に全国的な流行が開始し、多くのシーズンにおいて年間1,000万人以上の発病者がみられている。

臨床症状としては、インフルエンザウイルスの感染を受けてから1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強い。とくに、高齢者や慢性疾患を持つ患者では、入院や死亡の危険が増加し、いわゆる超過死亡の原因とされている。また、小児では中耳炎や急性脳症の合併が知られており、熱性痙攣や気管支喘息を誘発することもあり、特に乳幼児では重症化して入院を要することも少なくない。

感染症発生動向調査によると、インフルエンザの定点当たり報告数は2007年第42週以降増加が続いており、第51週は7.2(報告数34,028)であった(図1)。都道府県別では、青森県(22.3)、和歌山県(19.3)、岡山県(14.5)、北海道(13.6)、兵庫県(13.2)、山梨県(12.9)、千葉県(12.2)、埼玉県(12.1)、静岡県(10.7)、広島県(10.6)の順となっている。これまで定点当たり報告数が多かった北海道は前週よりも減少したものの、青森県ではこの5週間で報告数が急増し、その他全国の多くの地域においても報告数の増加がみられている(図2)。シーズン開始の第36週から第51週までの定点当たり累積報告数は22.6(累積報告数109,380)であり、年齢別では5～9歳44.8%、0～4歳21.6%、10～14歳14.6%、30～39歳6.8%の順となっている。5～9歳からの報告数割合が例年と比較しても高い状態が続いており、15歳未満の小児を中心とした流行が継続している(図3)。第36週以降のインフルエンザウイルスの分離報告数は37都道府県から716件であり、うちAH1亜型644件(89.9%)、AH3亜型61件(8.5%)、B型11件(1.5%)となっており、今シーズンはこれまでのところ国内におけるインフルエンザ流行の原因ウイルスの大半はAH1亜型であると思われる(図4)。

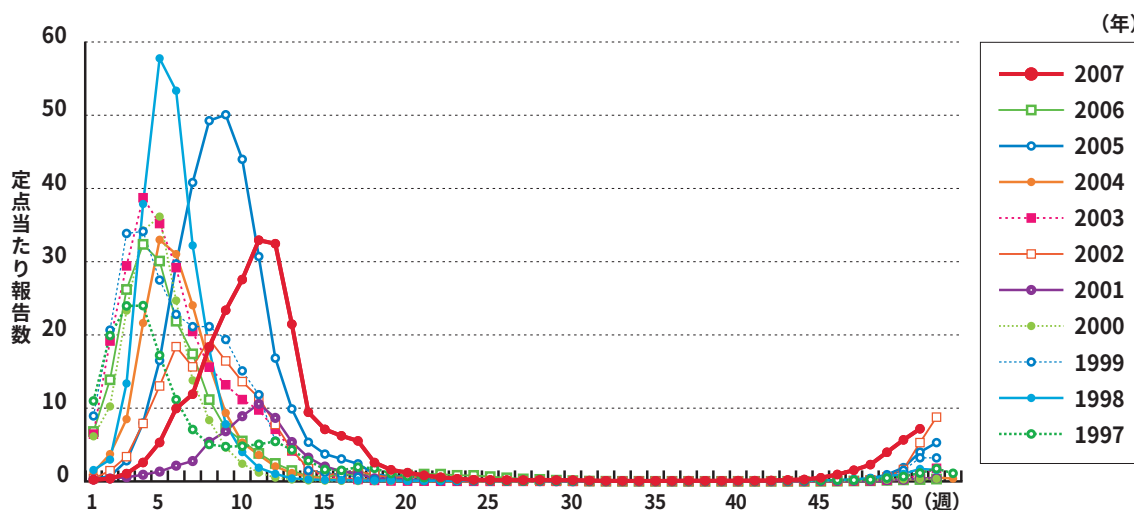


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1997年～2007年第51週)

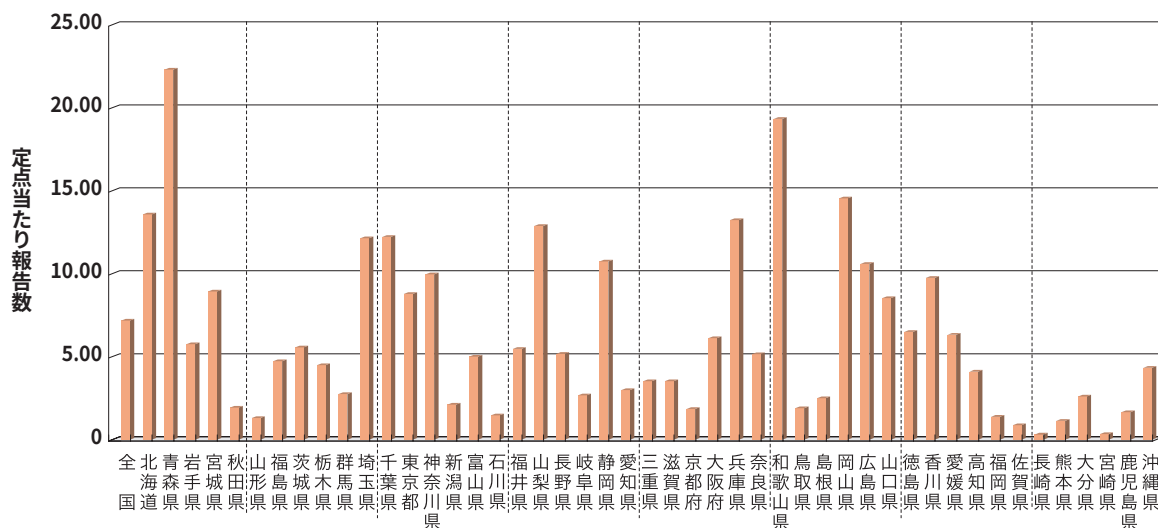


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況 (2007年第51週)

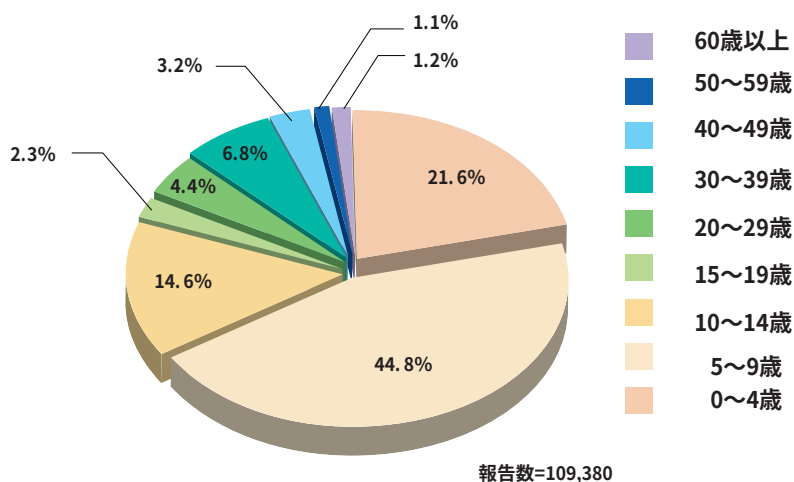


図3. 2007/08シーズンのインフルエンザ累積報告数の年齢群別割合 (2007年第36～51週)

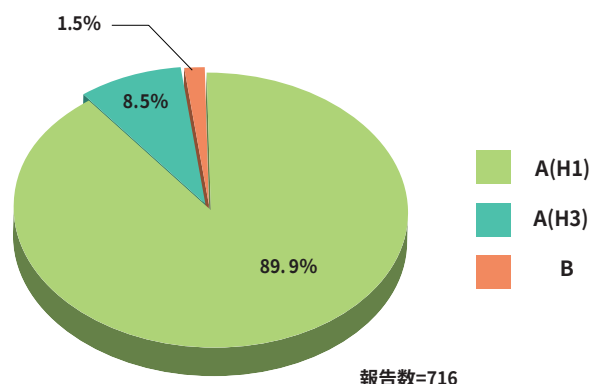


図4. インフルエンザウイルス型別分離・検出報告割合(2007年第36～51週)

(病原微生物検出情報: 2008年1月3日現在報告数)

第47週に、インフルエンザの定点当たり報告数の全国平均値は、流行開始の指標である定点当たり報告数1.0を上回り、その後も報告数の増加が継続しているが、第51週現在の定点当たり報告数は7.2であり、まだ本格的な流行には至っていない。学校等の冬期休暇や医療機関の休業の影響によって、今後のインフルエンザの患者発生報告数は一時的な減少がみられるものの、その後には再び大きく増加してくるものと予想され、インフルエンザの本格的な流行は2008年の1月以降となる可能性が高い。インフルエンザの発生動向には今後より一層の注意が必要である。インフルエンザの流行時には、外出時のマスク着用や帰宅時のうがい、手洗などが、かぜの予防と併せて奨められる。また、インフルエンザが疑われる症状を呈した場合は、速やかに医療機関を受診して医師の診断と適切な加療を受けることと、周囲への感染拡大を防止するため、マスク着用などの咳エチケットを始めとした予防措置を取ることが重要である。

◆麻疹

麻疹は麻疹ウイルス(*Paramyxovirus*科*Morbillivirus*属)によって引き起こされる感染症であるが、空気感染(飛沫核感染)、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示し、その感染力は極めて強い。典型的な麻疹を発症した場合、感染後10～12日間前後の潜伏期を経て、3日間前後続くカタル期で発症し、その後高熱と全身の発疹を呈する発疹期に至る。感染力はこのカタル期にもっとも強いとされている。特異的な治療法はなく、カタル期・発疹期を合わせると1週間以上高熱が続き、入院率や肺炎、脳炎、中耳炎などの合併症発生率が未だに高い疾患である。カタル期は後半に出現するコプリック斑を除けば麻疹に特異的な症状に乏しく、この期間中に麻疹と診断されることのないままに発病者から感染を拡大させてしまう場合も少なくない。麻疹の二大死因は肺炎と脳炎であり、先進国における麻疹による死亡率は0.1～0.2%とされている。また妊婦が麻疹を発症した場合、流産あるいは早産・新生児麻疹に至るリスクが高まることにも注意が必要である。

感染症発生動向調査によると、全国約3,000カ所の小児科定点からの麻疹の報告数は、2007年第51週は8道府県から46例(定点当たり報告数0.02)と2週連続で増加した(図1)。都道府県別では北海道24例、神奈川県10例、青森県、大阪府から各3例、岐阜県、福岡県から各2例、埼玉県、千葉県から各1例の順であった。北海道では第24週の報告数(23例)をピークとした流行が一旦は収まったかにみえたが、第45週以降に再び3～24例の患者発生報告が継続的にみられるようになり、第51週の報告数は2007年では最多となった。また神奈川県においても第48週以降、患者発生に増加がみられており、第51週は前週より微減したものの、2週連続で報告数が10例を超えている(図2)。2007年第1～51週までの小児科定点からの累積報告数は3,105例(定点当たり累積報告数1.03)であり、都道府県別では千葉県368例、埼玉県353例、福岡県341例、東京都302例、神奈川県298例、大阪府275例、北海道269例、宮城県100例、広島県81例、栃木県76例の順となっている(図3)。2007年の春季から始まった麻疹流行の中心であった南関東地域(千葉県、埼玉県、神奈川県、東京都)からの報告数は、第24週以降に一旦減少したものの、その後もより広範な地域において比較的報告数の多い状態が続き、特に北海道、大阪府、福岡県においては、秋季もしくは冬季を中心とした患者発生がみられている(図2)。累積報告数の年齢別割合では、0～4歳の報告割合は39.8%(1,235例)と例年(2000～2006年: 55～67%)と比べて低く、10～14歳の報告割合は29.3%(911例)と例年(5～15%)よりも高い状況である(図4)。

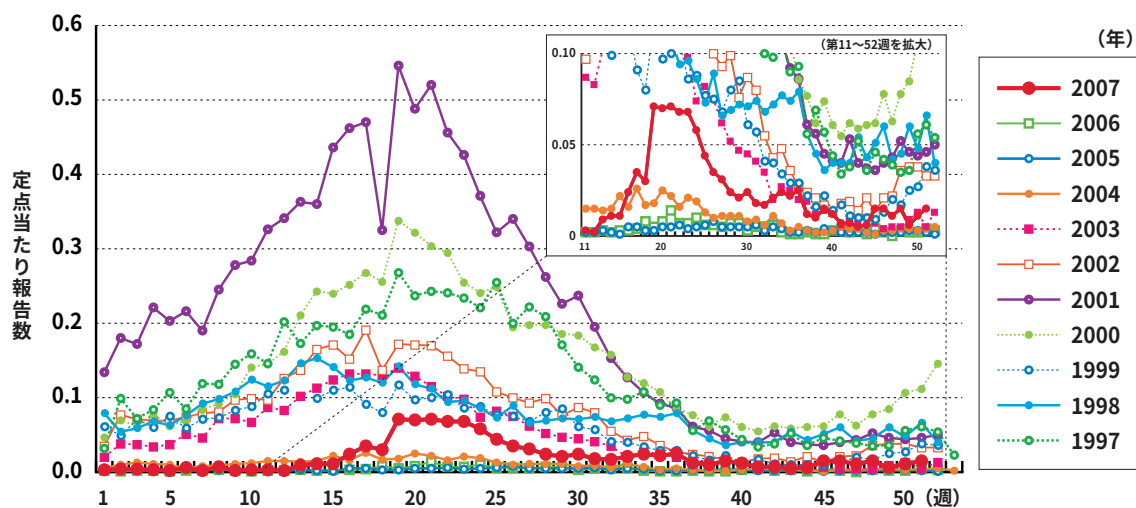


図1. 麻しんの年別・週別発生状況(1997年～2007年第51週)

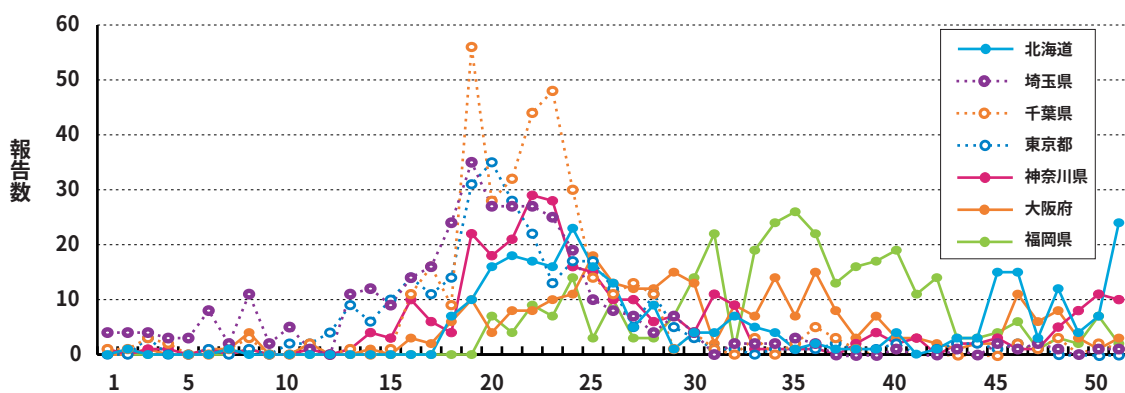


図2. 麻しんの上位7都道府県の報告数週別推移(2007年第1～51週)

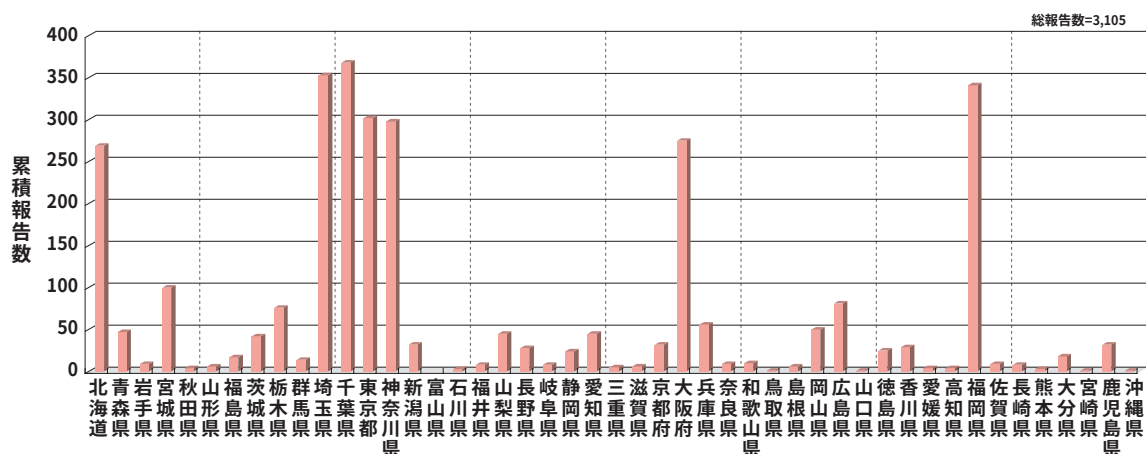


図3. 麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1～51週)

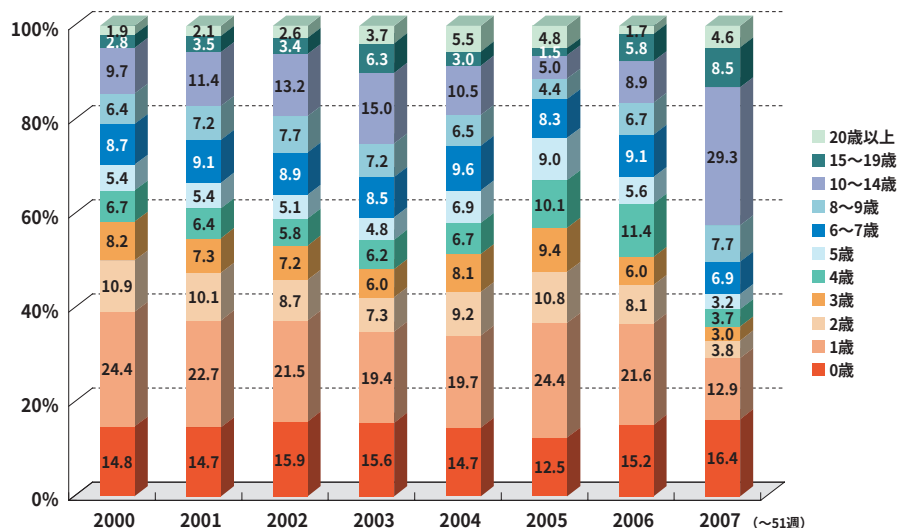


図4. 麻疹の報告症例の年別・年齢別割合(2000年～2007年第51週)

全国約450カ所の基幹定点からの成人麻疹(届出対象は15歳以上)の2007年第51週の報告数は5都道県から9例(定点当たり報告数0.02)となり、第47週以降増加している(図5)。都道府県別では、神奈川県4例、北海道2例、秋田県、東京都、福岡県から各1例の順であったが、小児科定点からの報告と同様に、北海道や神奈川県からの報告数が多くなっている。2007年第1～51週までの累積報告数は959例(定点当たり累積報告数2.08)であり、都道府県別では東京都261例、神奈川県117例、宮城県79例、福岡県59例、埼玉県46例、大阪府40例、北海道39例、山形県24例、千葉県24例、新潟県22例の順となっている(図6)。2007年第51週までの累積報告数(959例)は、1999年第14週に始まった成人麻疹の届出の年間累積報告数としては、2001年(931例)を上回って最多となった(図7)。累積報告数の年齢別割合では、15～19歳28.8%(276例)、20～24歳26.0%(249例)、25～29歳21.9%(210例)、30～34歳12.4%(119例)の順であり、30歳以下で全報告数の75%以上を、34歳以下で90%近くを占めている(図8)。

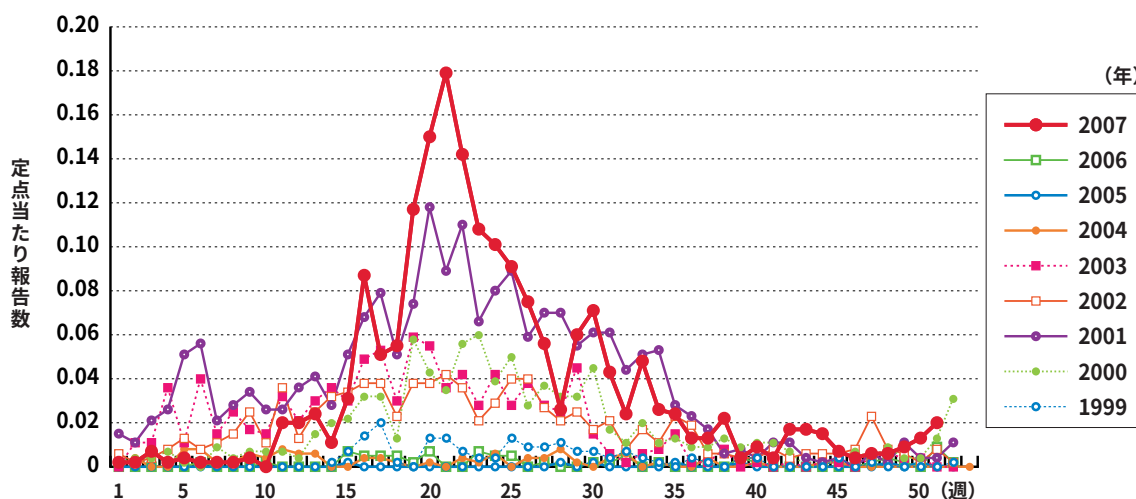


図5. 成人麻疹の年別・週別発生状況(1999年第14週～2007年第51週)

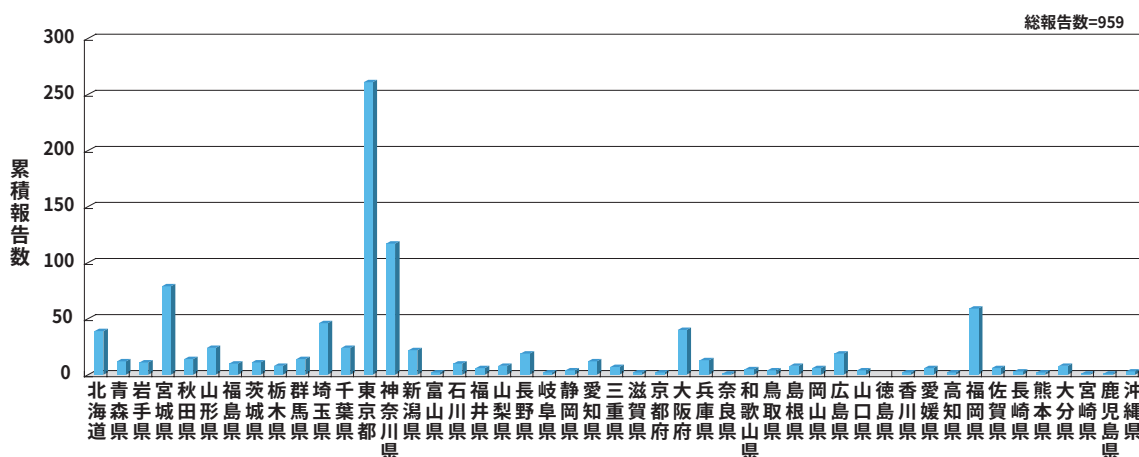


図6. 成人麻しんの都道府県別累積報告状況(2007年第1～51週)

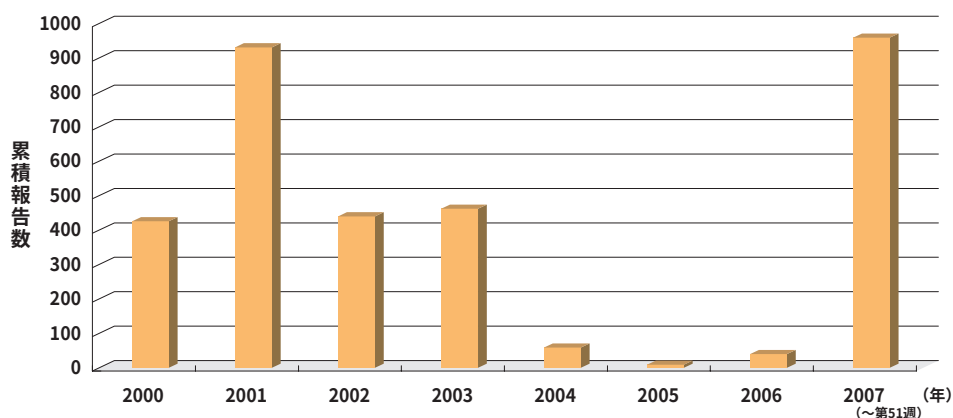


図7. 成人麻しんの累積報告数の年別推移(2000年～2007年第51週)

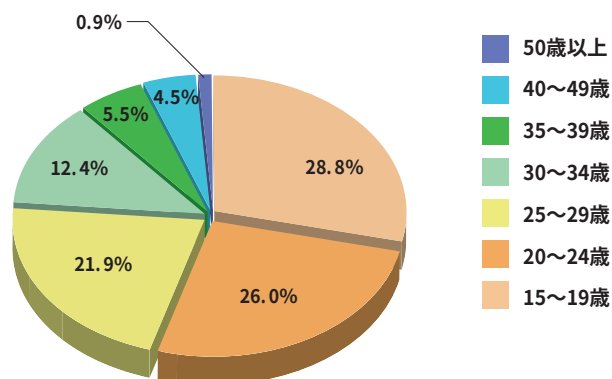


図8. 成人麻しんの報告症例の年齢別割合(2007年第1～51週)

麻しんの重篤な合併症である麻しん脳炎の発生は、2007年ではこれまでに第13、16、20、21、23、25、31、32、37週に計9例(13歳1例、16歳2例、18歳1例、21歳1例、26歳2例、27歳1例、28歳1例)が診断され、報告されている。

全国の衛生研究所における麻しんウイルスの分離・検出状況をみると、北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、福井県、山梨県、愛知県、三重県、大阪府、兵庫県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県の29都道府県から麻しんウイルスの分離・検出が459件報告されている。遺伝子型別まで実施された314件中302件ではD5型が検出されており、他にはA型11件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)とH1型1件(中国から帰国して5日後に発症した患者から)が検出されている(最新の報告数は感染症情報センターホームページ: <http://idsc.nih.go.jp/iasr/measles.html> に掲載)。

麻しんの流行は春季から夏季にかけてが一般的であり、そのピークは5月後半から6月前半となることが多い。2007年の麻しんの流行においても、小児科定点からの麻しんの報告数、及び基幹定点からの成人麻しんの報告数は共に第21週(小児科定点からの麻しん報告数215、基幹定点からの成人麻しん報告数82)が最大であり、流行の中心であった南関東地域からの麻しん及び成人麻しんの報告数はその後減少したものの、依然として他府県よりも報告数の多い傾向が続いており、さらに北海道では第51週でなお増加傾向がみられている(図2、図6)。2007年は、最近5年間でもっとも麻しんの流行した年となったが、患者発生がベースラインに下がりきらないまま次シーズンを迎えた場合、さらに大きな流行が全国レベルで発生する可能性が考えられる。特に、冬季にもかかわらず麻しんの発生が継続もしくは増加した地域においては、麻しんの発生动向についてより一層注意する必要がある。なお去年は、麻しん排除地域での日本人渡航者の麻しん発生例として、カナダへの修学旅行中に発症した高校生や、米国におけるスポーツイベントに参加した小学生などの事例が、国際的な問題として注目された。この背景としては、各国およびWHOなどの国際機関が、今年6月から実施された改訂国際保健規則(IHR2005)に基づいて、麻しんを含めた国際的な感染症の伝播や移動に警戒を強めていることに大きく関連している。

日本を含むWHO西太平洋地域では、2012年が麻しん排除(elimination)の目標年として設定され、国際的な責務として各国に対策が求められている。我が国における対策としては、(1)積極的な感受性者対策、すなわち95%以上の予防接種率の達成・維持のための取り組み(1歳代、小学校就学前1年間、さらに2008年4月1日より5年間の期限付きで実施される、中学校1年生、高校3年生相当世代への定期接種としての予防接種計画)、(2)2008年1月1日からの全数把握制度による麻しんサーベイランス、(3)麻しん発生時の迅速な対応、が対策の三本柱として実施される。これらを可能な限り円滑に導入・実施することを目的として、国は「国の麻しん対策委員会」を設置し、「都道府県を主体とした麻しん対策会議」の設立等をはじめとした都道府県レベルの活動支援を実践することとしている。2月からは、全国各地におけるブロック会議が開催される予定であり、関係各機関との意思統一と連携が重要である。

以下に、麻疹関連情報として感染症情報センターのホームページに掲載されている主な項目とそのURLを挙げる。麻疹対策として活用いただければ幸いである。

■麻疹(はしか): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>

□緊急情報(全数把握制度、定期予防接種の対象者拡大について)

□対策・ガイドラインなど

●麻疹の現状と今後の麻疹対策について

●都道府県を主体とした麻疹対策会議の役割(案)第二版

●麻疹排除に向けた積極的疫学調査ガイドライン(案)第一版

●医師による麻疹届出ガイドライン(案)第二版

●医療機関での麻疹対応について(初版)

●保育所・幼稚園・学校等における麻疹患者発生時の対応マニュアル

□関連情報

●予防接種法施行令の一部を改正する政令の一部を改正する政令及び予防接種法施行規則及び予防接種実施規則の一部を改正する省令

●麻疹に関する特定感染症予防指針

●予防接種法施行規則の一部を改正する省令

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令

□国内情報

●我が国の健常人における麻疹PA抗体保有率

●病原微生物検出情報[IASR](麻疹特集、ウイルス検出状況他)

■Q&A: <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/QA.html>

■麻疹発生DB(データベース): <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/meas-db.html>

■予防接種の話「麻疹」: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html>

■年齢別麻疹、風疹、MMRワクチン接種率: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/atopics/atpcs001.html>

■感染症の話「麻疹」: http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_03/k03_03.html

■「麻疹・風疹ワクチンなぜ2回接種なの?」ポスター: <http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn01.html>

■「麻疹風疹混合ワクチンを1歳のお誕生日のプレゼントにしましょう」ポスター:

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn04.html>

■「小学校入学準備に2回目の麻疹・風疹ワクチンを!」ポスター:

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/cpn07.html>

■2006年度第2期麻疹・風疹ワクチン接種に関する全国調査—最終評価—:

<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3313.html>



病原体情報

※グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

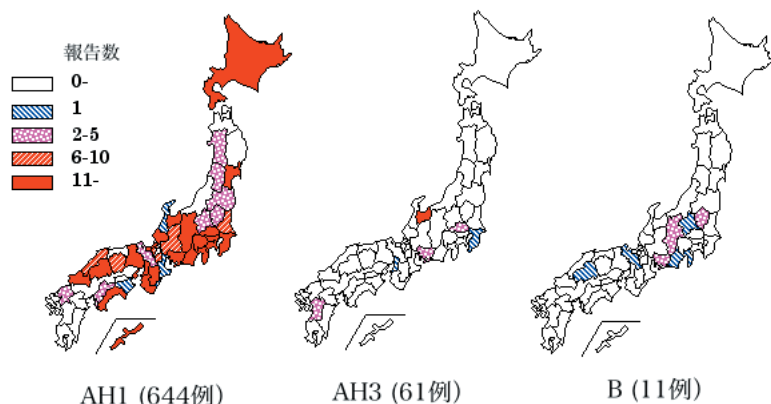
(2008年1月3日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りAH1亜型の分離・検出が増加しており、第36～51週までに36都道府県から644件が報告されている(分離が602件、PCRのみでの検出が42件)。直近の第48～51週の4週間では、北海道61件、静岡県39件、神奈川県22件、奈良県19件、千葉県18件、宮城県、高知県各17件、広島県16件、福井県、長野県各15件、和歌山県14件、埼玉県12件、山口県10件など31都道府県から計359件が報告されている。

AH3亜型は第37週に愛知県2件、第43～44週に熊本県5件、埼玉県4件、千葉県1件、第45～49週に富山県48件(本号18ページ「速報」参照)、第49週に大阪府で1件(中国から帰国)、計61件の分離が報告されている。B型は第43週に栃木県2件(インドから帰国)、第46週に京都府1件、第49週に群馬県、静岡県各1件、第49～50週に長野県3件、計8件の山形系統株の分離が、第47週に広島県1件、第48週に愛知県2件、計3件のビクトリア系統株の分離が報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2007/08シーズン
(病原微生物検出情報: 2008年1月3日現在報告数)

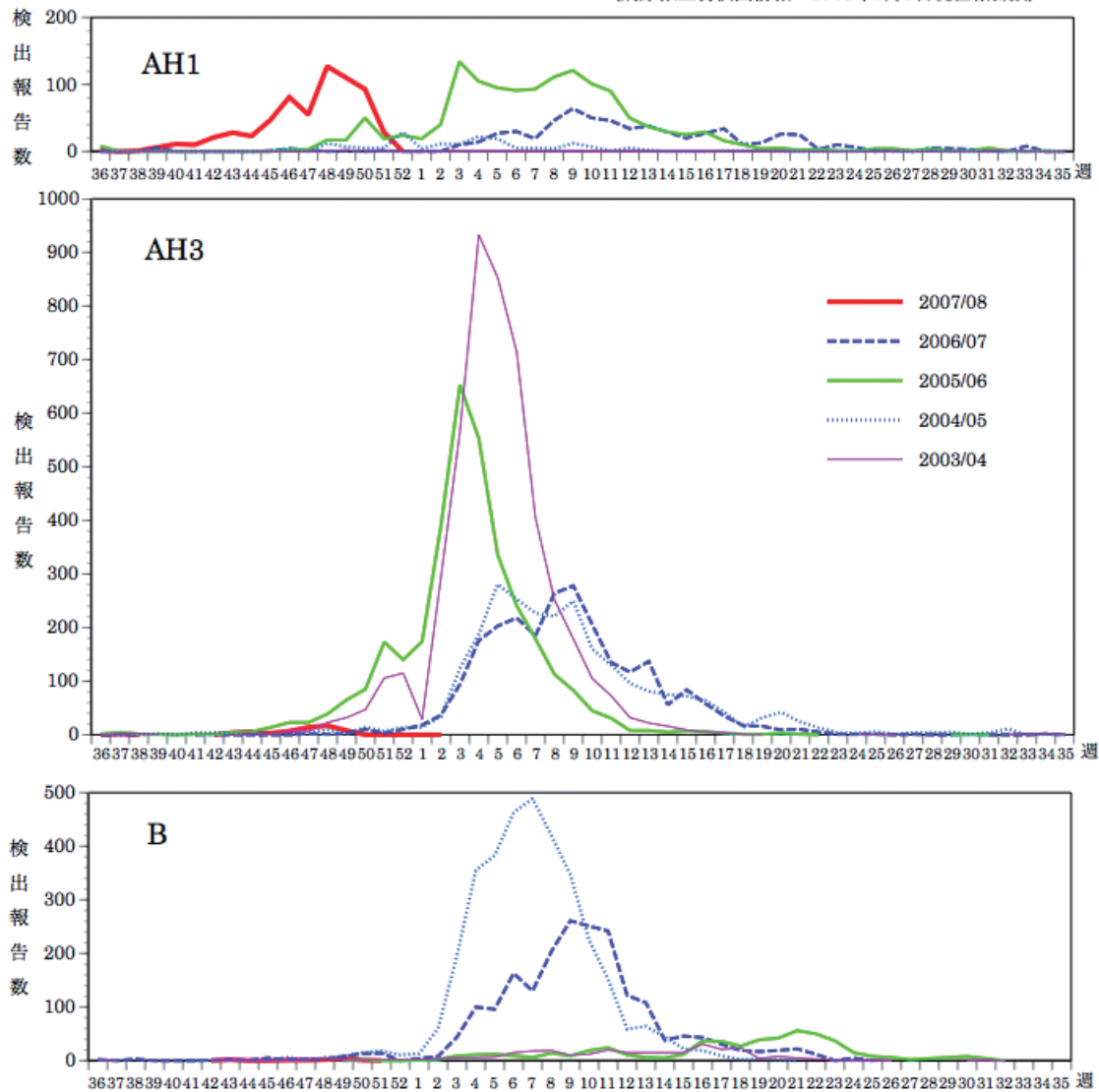


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2003/04～2007/08シーズン

(病原微生物検出情報: 2008年1月3日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りノロウイルスgenogroup IIとサポウイルスの検出が増加している。第36～52週までにノロウイルスgenogroup I 7件、ノロウイルスgenogroup II 523件、サポウイルス125件の検出が報告されている。

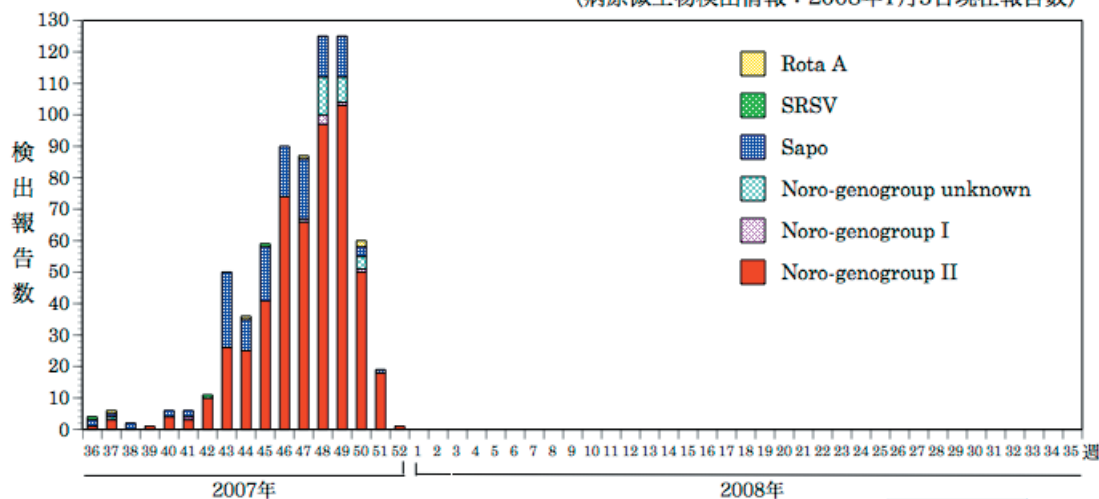
ノロウイルスgenogroup IIの検出は大阪府86件、熊本県74件、滋賀県50件、福岡県40件、神奈川県34件、秋田県29件、山梨県21件、鳥取県20件、鹿児島県19件、千葉県18件、新潟県14件など30道府県から、サポウイルスの検出は熊本県50件、愛媛県28件、高知県19件、和歌山県12件、三重県8件、福岡県3件など11県から報告され、ノロウイルスgenogroup Iは大阪府3件、神奈川県、三重県、京都府、高知県各1件の検出が報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる集団感染81事例、genogroup不明11事例、計92事例が報告されており、genogroup IIの遺伝子型別まで実施された24事例中18事例ではGII/4、5事例ではGII/3、1事例ではGII/6が検出されている。推定感染経路は老人施設、病院、福祉施設、保育所、小学校、宿舎、ホテル、宴会場などでの人→人感染が疑われる胃腸炎集団発生が52事例、食中毒および有症苦情が29事例、海外旅行での集団感染が1事例、その他・詳細不明10事例である(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。

この他、A群ロタウイルスの検出が第37週に東京都で1件、第44週に熊本県で1件、第47週に高知県で1件、第50週に新潟県で2件(血清型G1)報告されている。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2007/08シーズン

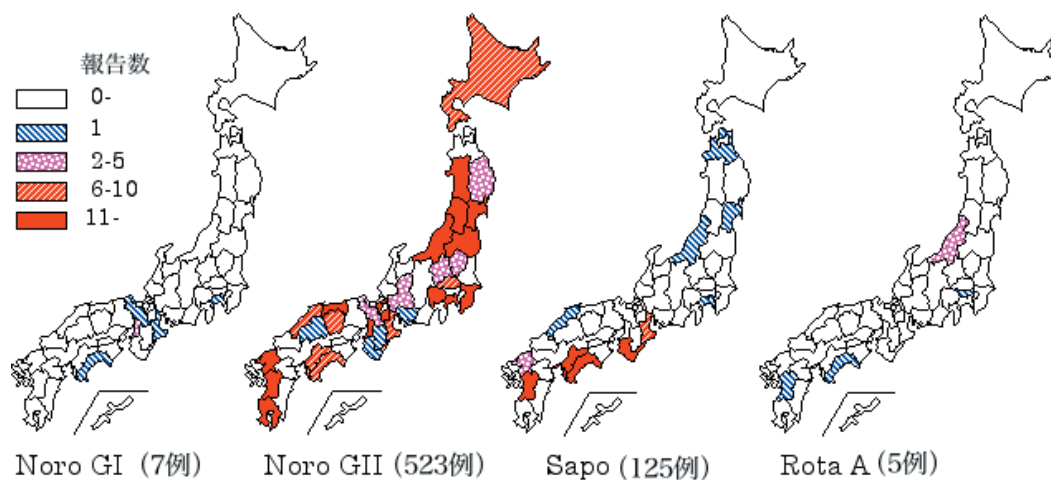
(病原微生物検出情報: 2008年1月3日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報: 2008年1月3日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆2007/08シーズンのインフルエンザウイルスAH1亜型とAH3亜型の分離ー富山県

富山県における今シーズンのインフルエンザの患者報告は、第43週(10/22～10/28)から始まり、定点当たり1.0人を前後していたが、第50週(12/10～12/16)には3.88人まで増加した。当初は砺波厚生センター(HC)からの報告数が多く、第49週(12/3～12/9)以降には、高岡HCと新川HCからの報告数も増加した。今シーズンの流行は過去10シーズンで最も早い立ち上がりを示したが、局地的に流行している傾向があり、患者数の増加は緩やかである。

10/27～12/6の間に定点医療機関で採取された臨床検体(鼻汁)からウイルスを分離した。分離はMDCK細胞を用いて行い、分離されたウイルスは、国立感染症研究所から配布された2007/08シーズン用の同定キットを用いて、赤血球凝集抑制(HI)試験(0.75%モルモット赤血球使用)により同定した。

これまでに、A型インフルエンザウイルスが61株分離され、その内訳はAH1亜型が13株、AH3亜型が48株だった。それらのうち57株は砺波HC管内の3カ所の定点医療機関で採取された検体からのものであり、同地域の流行状況を反映していた。AH1亜型は、第43～47週にかけて主に南砺市の患者から分離されているのに対し、AH3亜型は、第45週以降に主に砺波市とその周辺の高岡市の患者から分離されており、地域によって流行した亜型および時期が異なっていた。今後の発生動向に注目していきたい。なお、B型は分離されていない。

分離されたAH1亜型の抗原性は、抗A/Solomon Islands/3/2006(ホモ価 320)に対してHI価 160が1株、80が2株、10～40が10株であり、2007/08シーズンのワクチン株であるA/Solomon Islands/3/2006から大きくずれている株が多かった。一方、AH3亜型の抗原性は、抗A/Hiroshima(広島)/52/2005(ホモ価 640)に対してHI価 320～640が41株、160が7株であり、ワクチン株であるA/Hiroshima(広島)/52/2005から大きくずれている株は少なかった。

富山県衛生研究所

堀元栄詞 中村一哉 小原真弓 岩井雅恵 長谷川澄代 滝澤剛則 倉田 毅

(IASR 2008年2月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

●エジプトでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年12月26日

エジプト保健人口省は、鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型の新たなヒト感染患者1名を発表した。患者はBany Suwef行政地区の25歳女性である。患者は12月23日に入院し、12月25日に死亡した。患者の感染源は、現在調査中である。

エジプトでは2007年7月以降H5N1確定症例の報告はなかった。エジプトでは、これまで感染が確認された39例のうち、16名が死亡している。

WHO/EPR 2007年12月28日－更新

エジプト保健人口省は、鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型の新たなヒト感染患者2名を報告した。

第1例目は、Domiatt行政地区の50歳女性である。患者は12月24日に入院し、現在危篤状態である。

第2例目は、Menofia行政地区の22歳の女性で、鶏の販売をしていた。患者は12月26日に入院し、現在は集中治療によって快復している。

両名とも発症前に病鳥や死亡した鳥との接触があった。

エジプトでは、これまで感染が確認された41例のうち、16名が死亡している。

WHO/EPR 2008年1月2日－更新2

エジプト保健人口省は、鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型の新たなヒト感染患者2名を発表した。

第1例目は、Dakahlyah行政地区、Dekerns地区の25歳女性である。患者は12月26日に発症、12月27日に入院し、12月30日に死亡した。

第2例目は、Menofia行政地区、Menof地区の36歳女性である。患者は12月26日に発症、12月29日に入院し、12月31日に死亡した。現在までに、今回の症例と12月28日に発表されたMenofia行政地区の症例との間に疫学的な関連性の証拠は見つかっていない。

両名とも発症前に病鳥や死亡した鳥との接触があった。

エジプトでは、これまで感染が確認された43例のうち、18名が死亡している。

WHO/EPR 2008年1月3日－更新3

エジプト保健人口省は、以前に鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型の感染が確認された患者1名の死亡を発表した。Domiatt行政地区の50歳女性が、12月31日に死亡した。

エジプトでこれまで感染が確認された43例のうち、19名が死亡している。

●インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年12月26日－更新28

インドネシア保健省は、鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型の新たなヒト感染患者1名を報告した。DKI Jakarta州West Jakarta地区の24歳女性が、12月14日に発症、12月19日に入院し、12月25日に死亡した。

患者の感染源は、現在調査中である。

インドネシアでは、これまでに感染が確認された116名のうち、94名が死亡している。

●パキスタンでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年12月27日—更新

パキスタンで最初の鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型感染患者が確定された。エジプト、カイロにあるWHO H5型レファレンスラボラトリーと英国、ロンドンにあるWHOインフルエンザレファレンスセンターが実施した診断検査で、家族内感染事例の患者1名から採取された検体にて鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型が確認された。H5N1が確認された患者は、Peshawar地域の25歳男性で、11月21日に熱性呼吸器疾患を発症、11月23日に入院し、11月28日に死亡した。ウイルスの遺伝子核酸配列を含む追加的な解析が進行中である。

パキスタン政府の要請で、WHOチームは、複数のH5N1亜型ウイルス感染疑い患者に対する進行中の調査に同国政府当局者と共に参加するため、パキスタンを訪れている。その結果、以下の結論が得られた。

◎予備的リスク評価では、持続するあるいはコミュニティ内でのヒト-ヒト感染伝播の証拠は確認されなかった。

◎患者家族の他のメンバーを含む同定された濃厚接触者および治療に当たった医療従事者の全員は、現在も発症しておらず、厳密な健康監視が解除された。

パキスタン保健省は、今回の感染事例を調査し封じ込めるために、時を移さず適切な対策を講じている。その中には、患者隔離、接触者追跡調査および健康監視、詳細な疫学調査、個人感染防御装備の備蓄増強、新たな疑い患者のための病院設備の割り当ておよびその他の感染制圧対策が含まれる。加えて、食糧・農業畜産省およびFAO(国連食糧農業機関)を含む農業関係当局は、今回の限定的な感染事例の効果的な制圧のために、積極的に技術面で協力している。

●ベトナムでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年12月28日

ベトナム保健省は、鳥インフルエンザウイルスA/H5N1亜型の新たなヒト感染症例1名を確認した。患者は、国立衛生疫学研究所で確認された。

患者は、Son La州の4歳男児である。男児は、12月7日に発症、12月11日に入院し、12月16日に死亡した。

制圧対策が実施され、濃厚接触者が確認されている。全員が健康なままであるが、健康監視は続けられている。感染源は現在調査中である。

ベトナムでは、これまでに感染が確認された101名のうち、47名が死亡している。



感染症の話

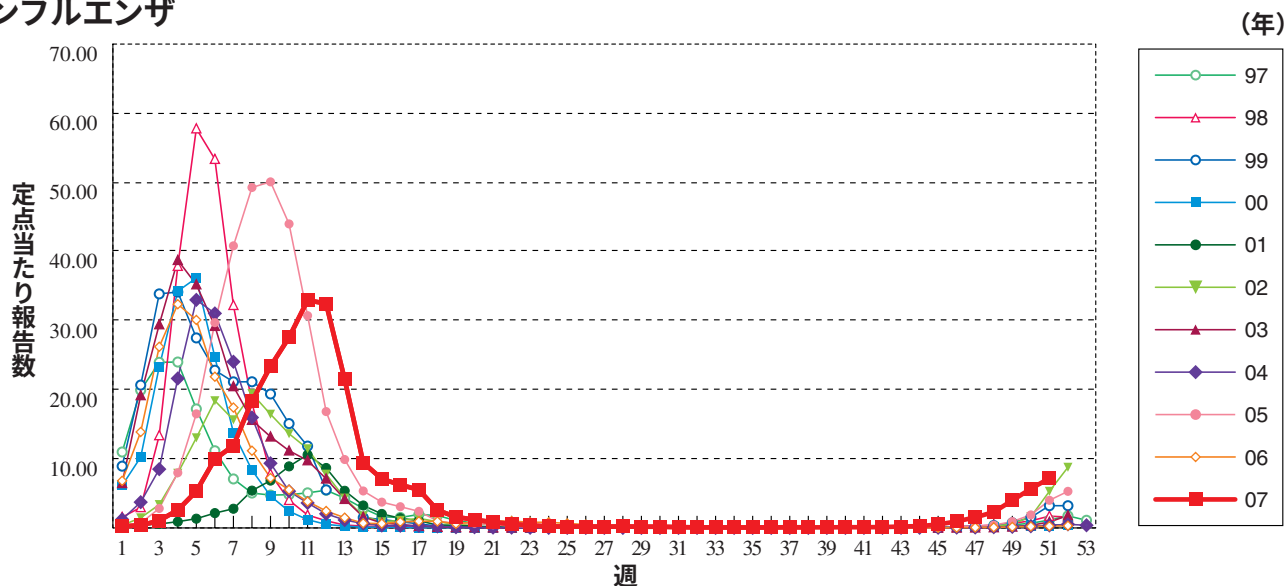
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

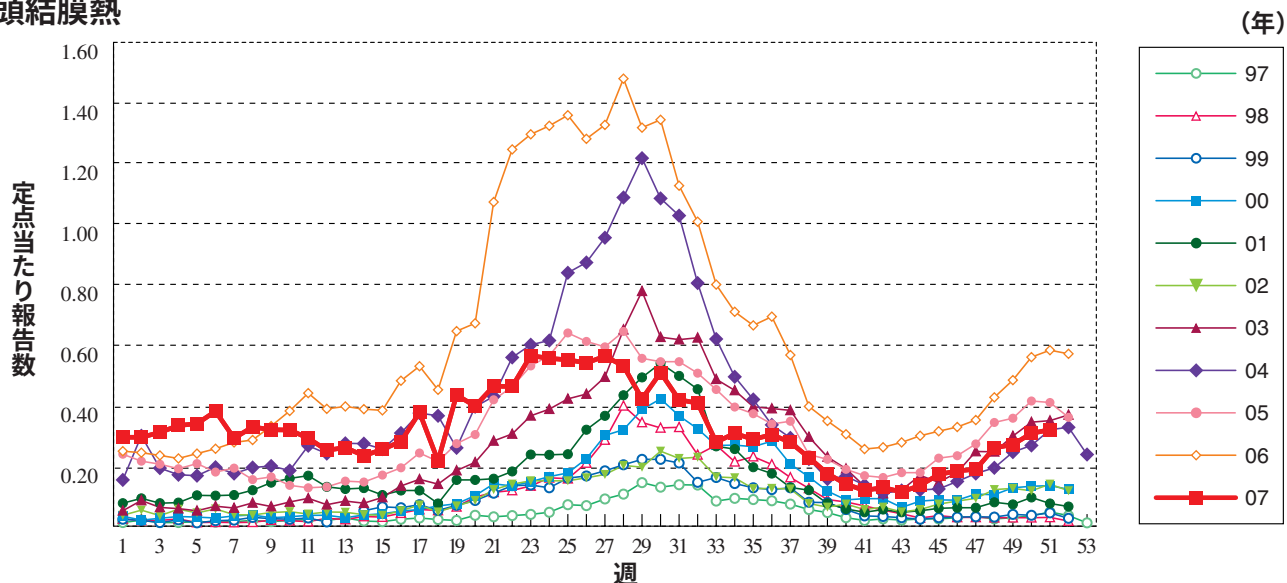


グラフ総覧(51週)

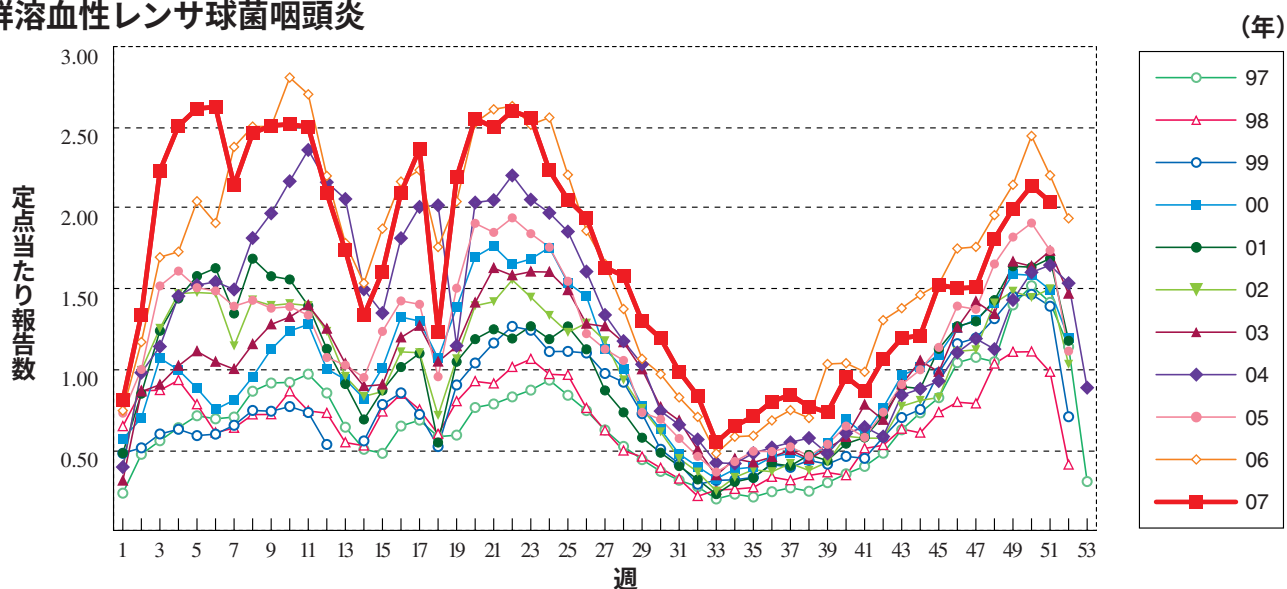
インフルエンザ



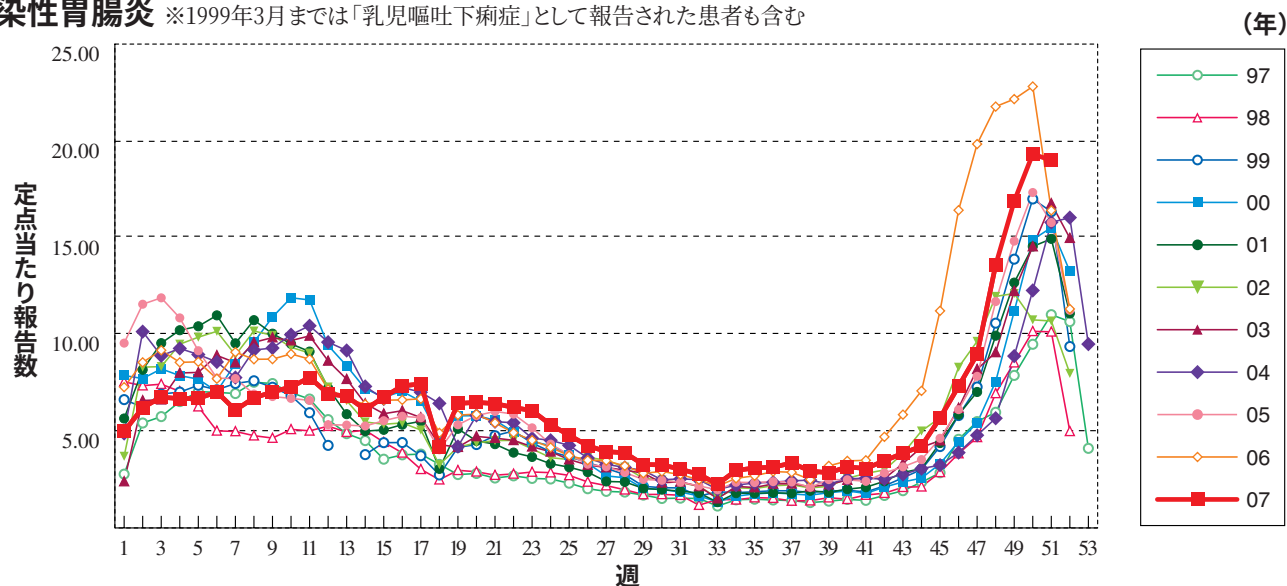
咽頭結膜熱



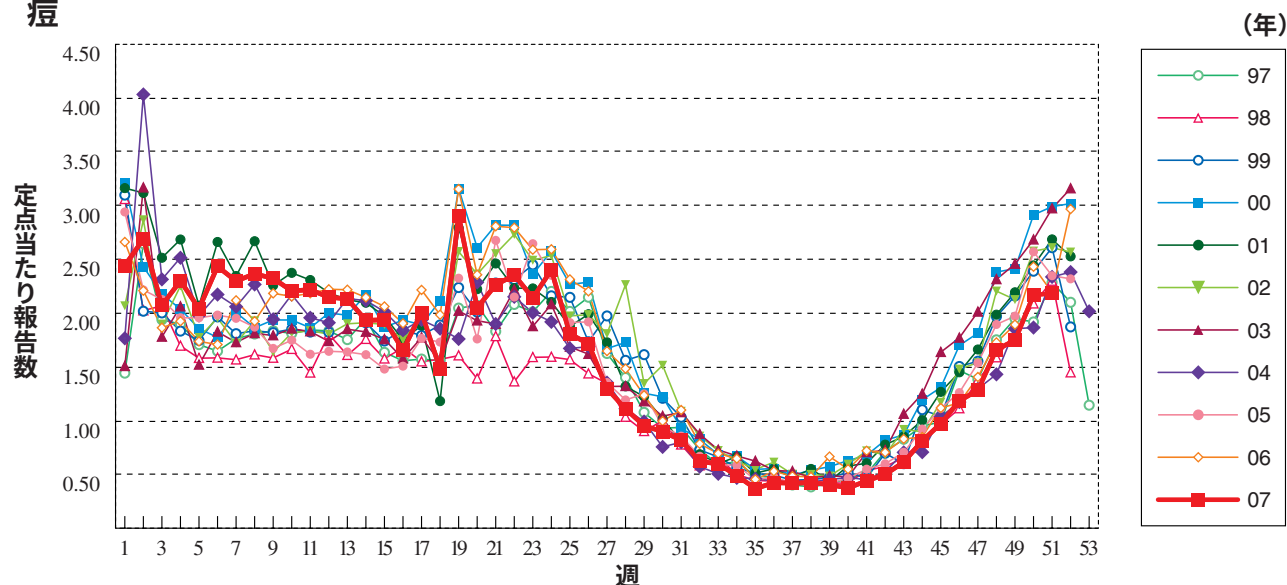
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



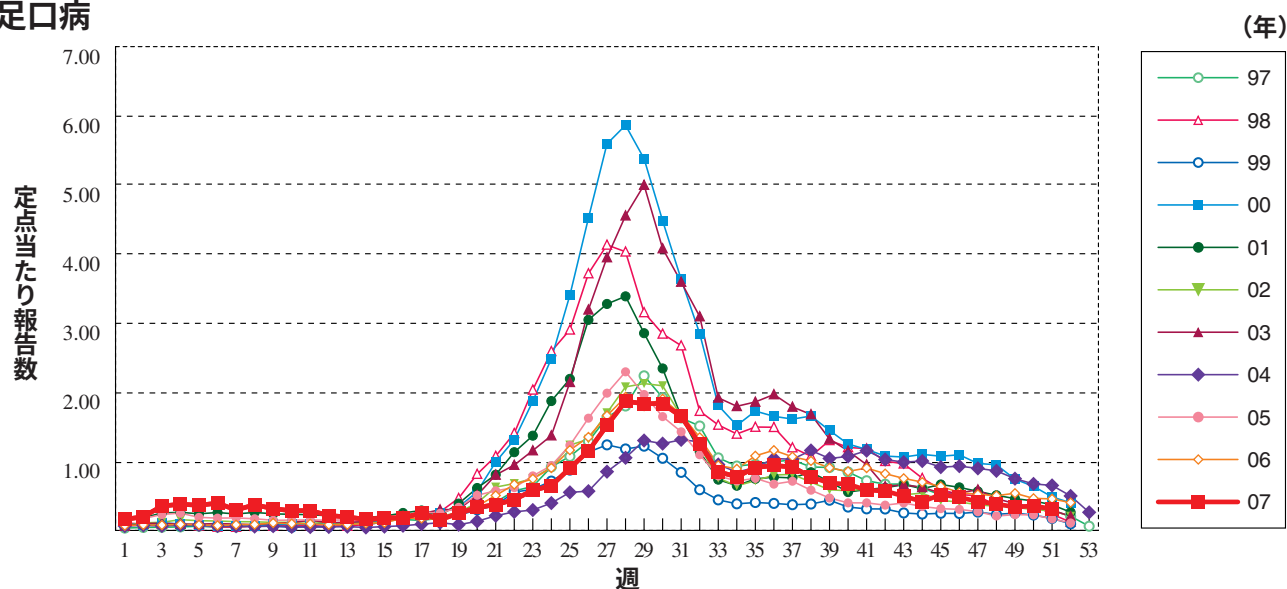
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



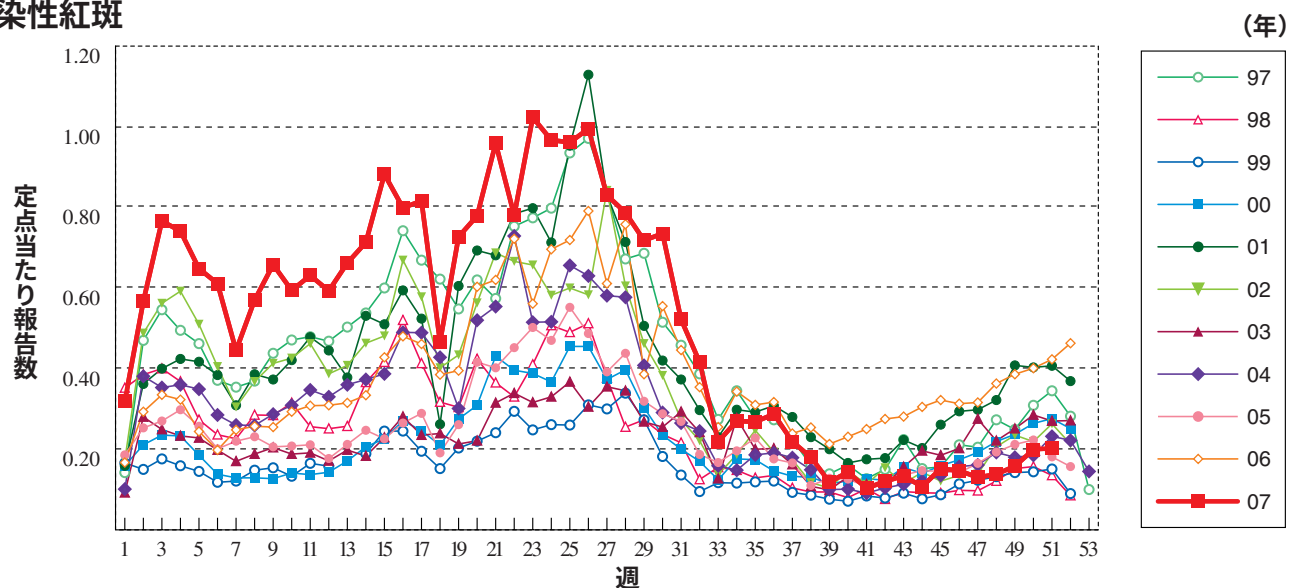
水痘



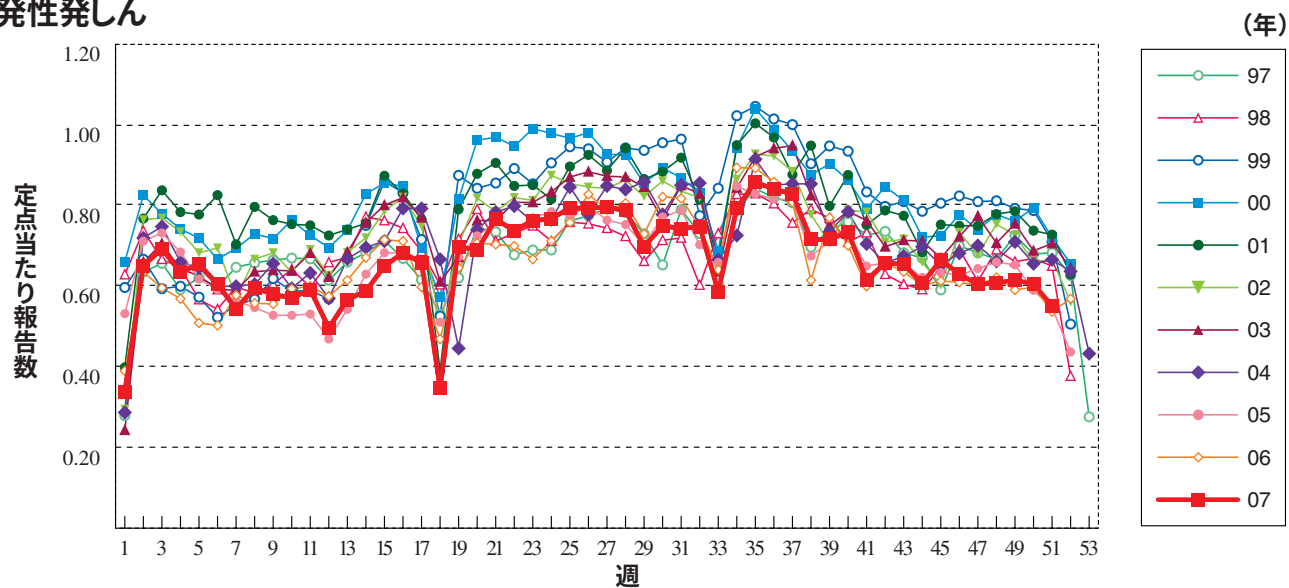
手足口病



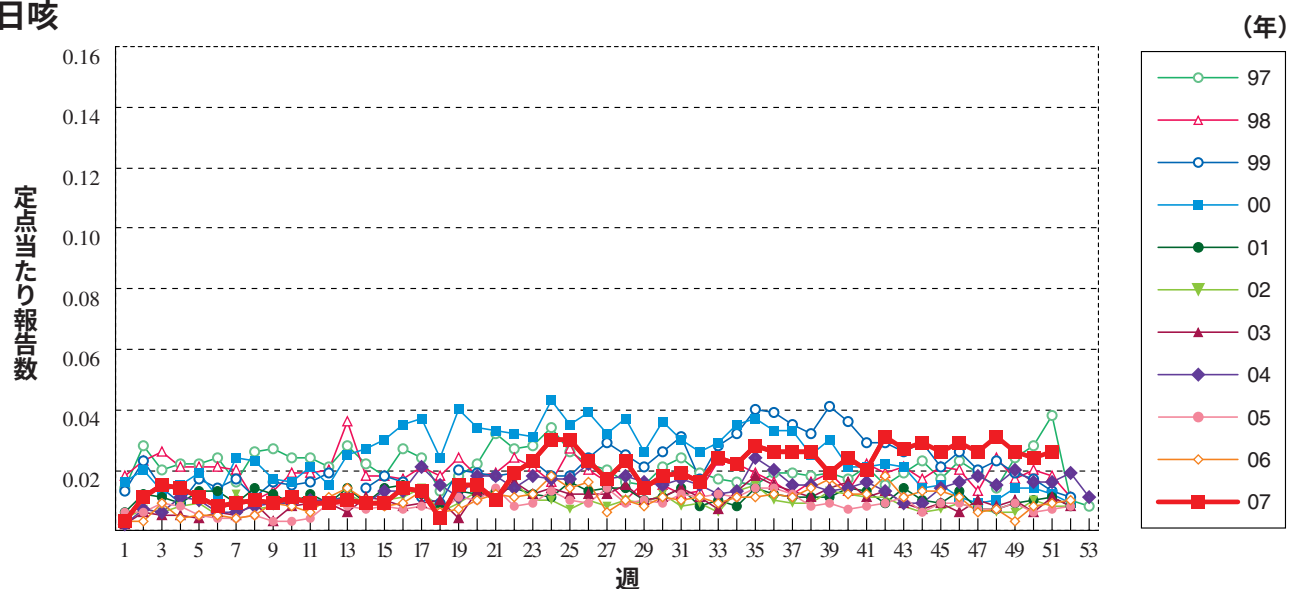
伝染性紅斑



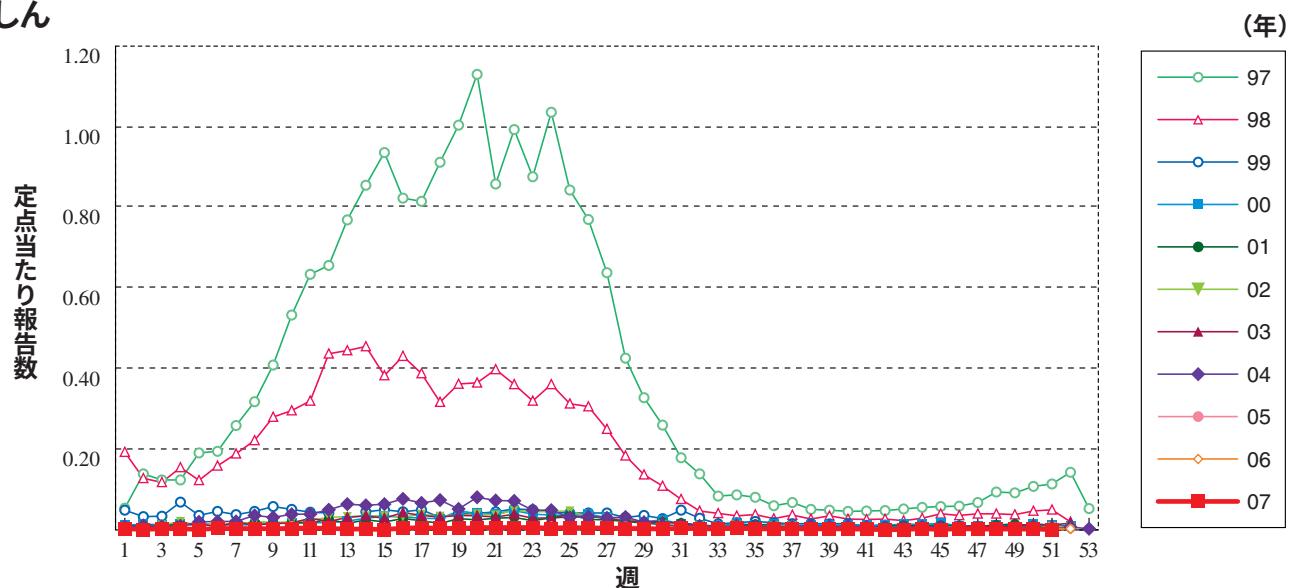
突発性発しん



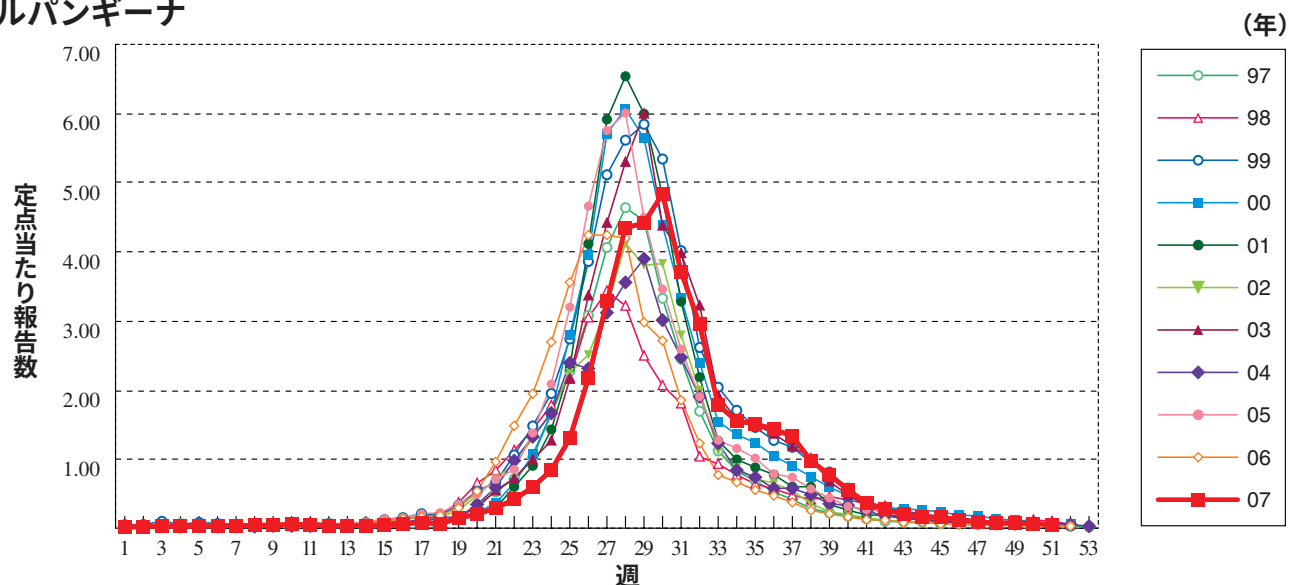
百日咳



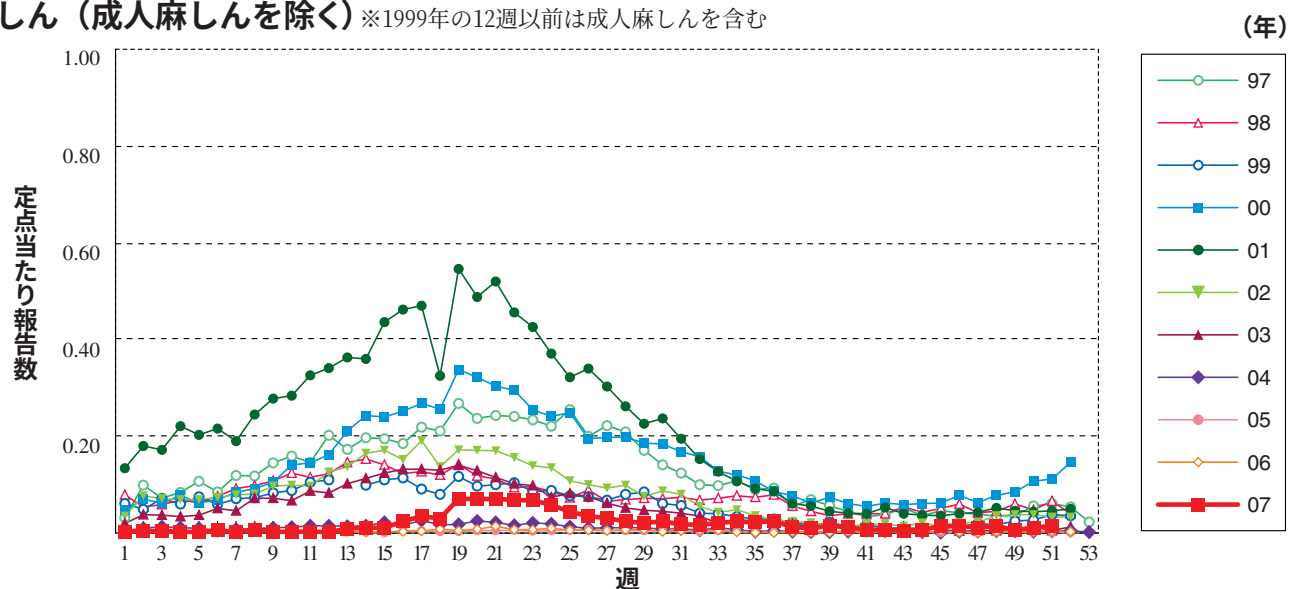
風しん



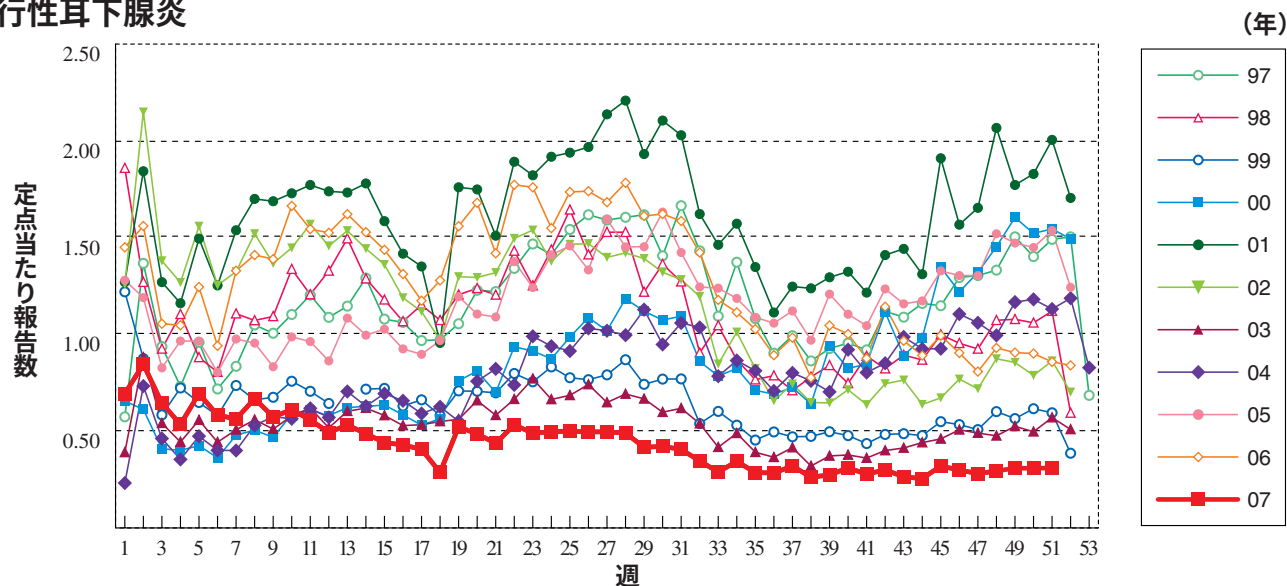
ヘルパンギーナ



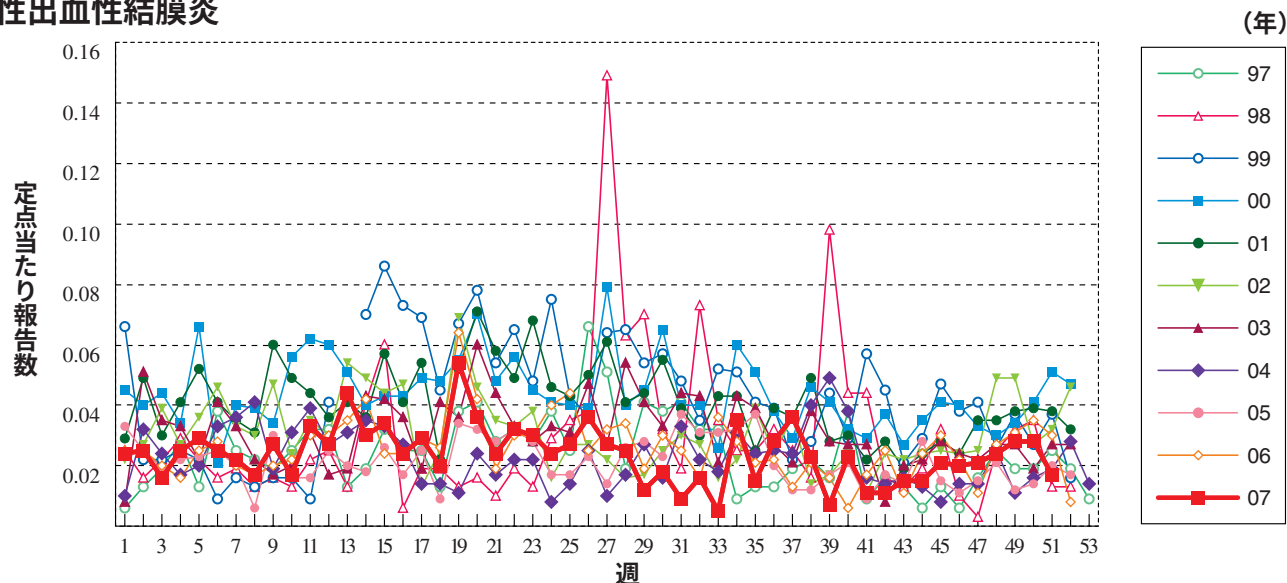
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



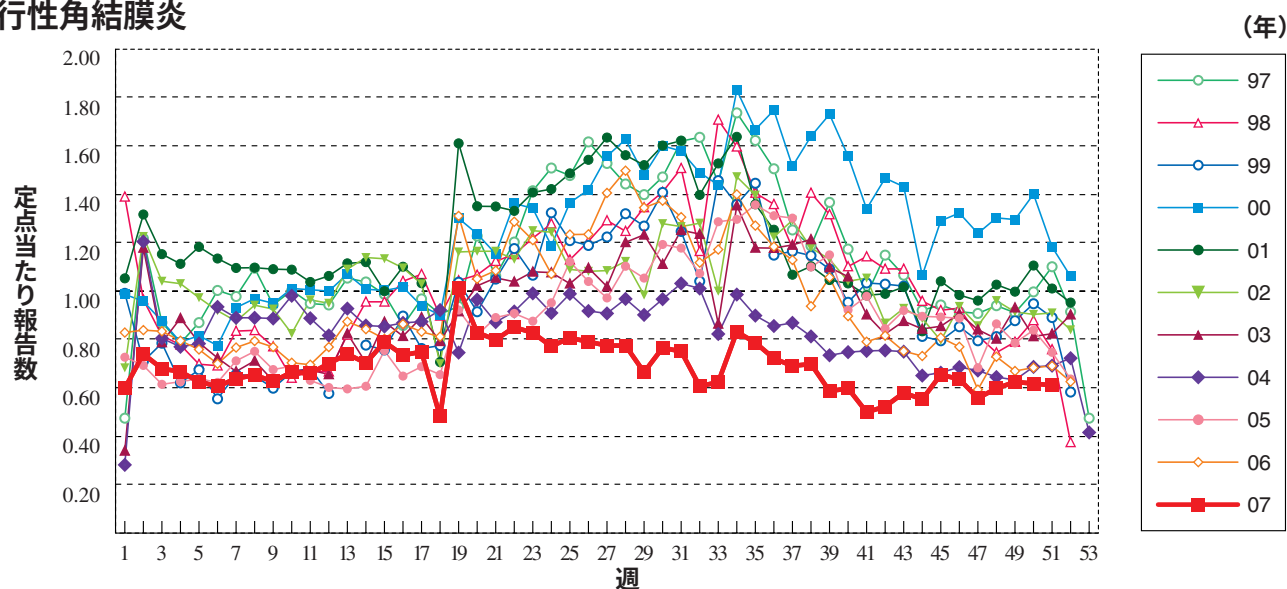
流行性耳下腺炎



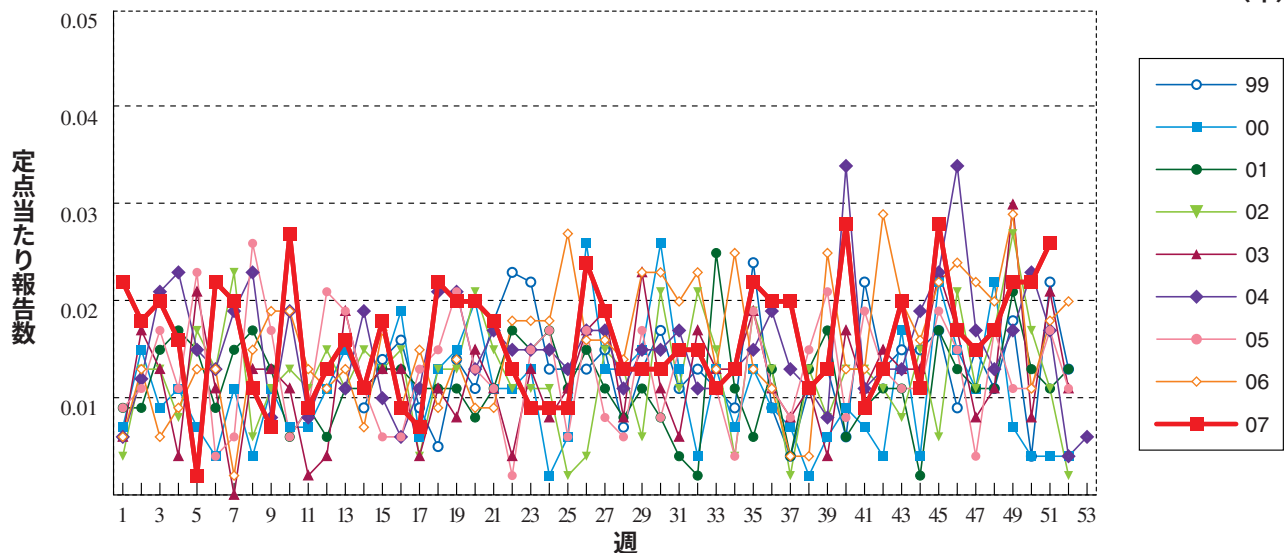
急性出血性結膜炎



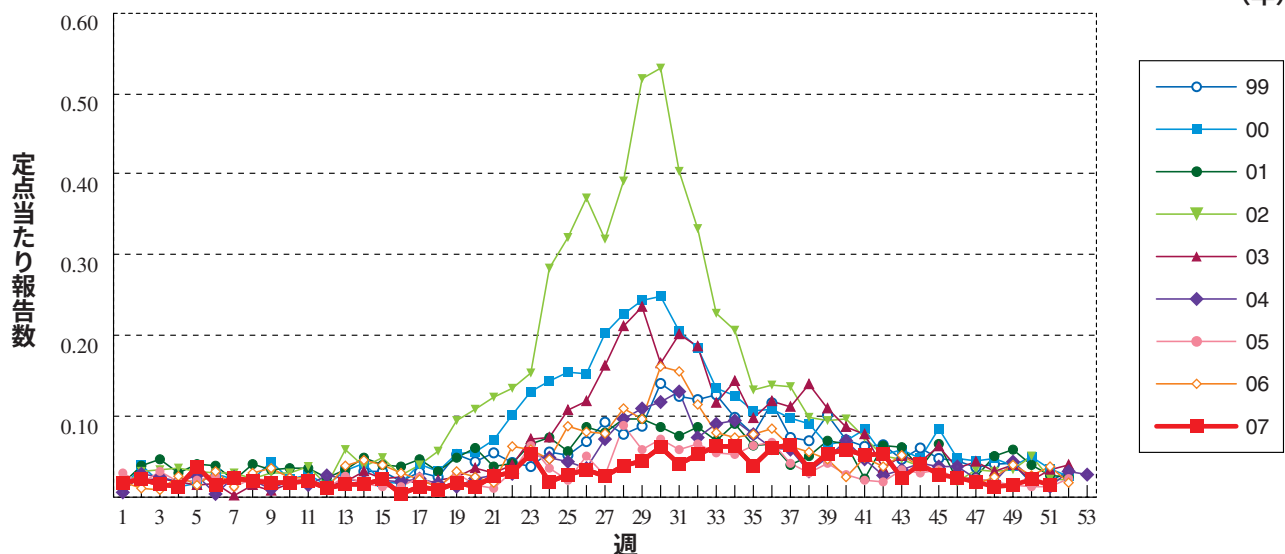
流行性角結膜炎



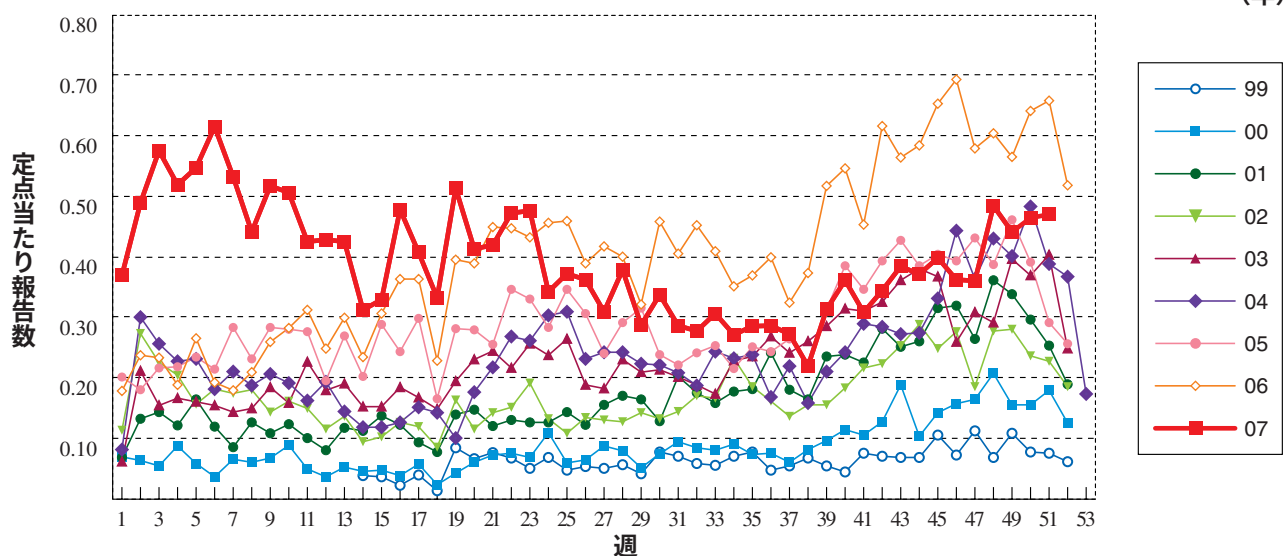
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

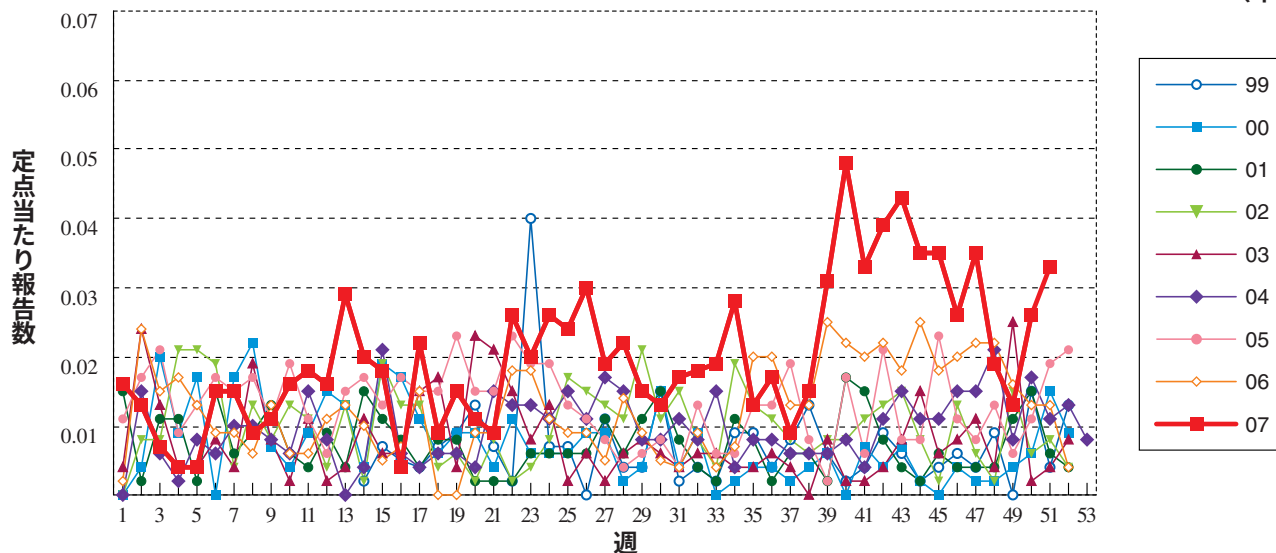


マイコプラズマ肺炎



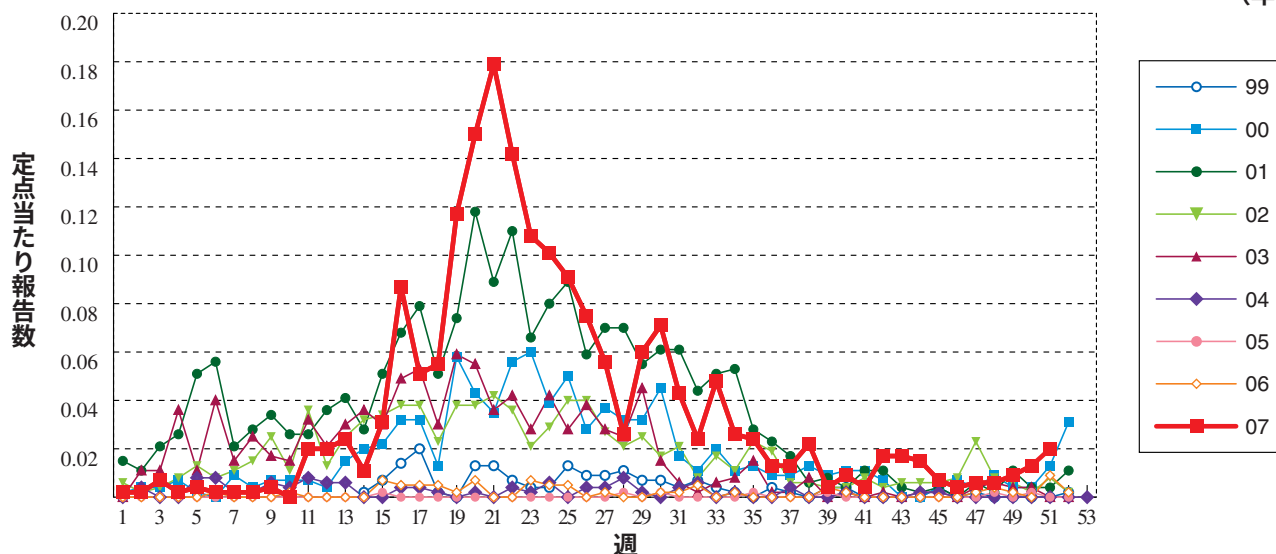
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



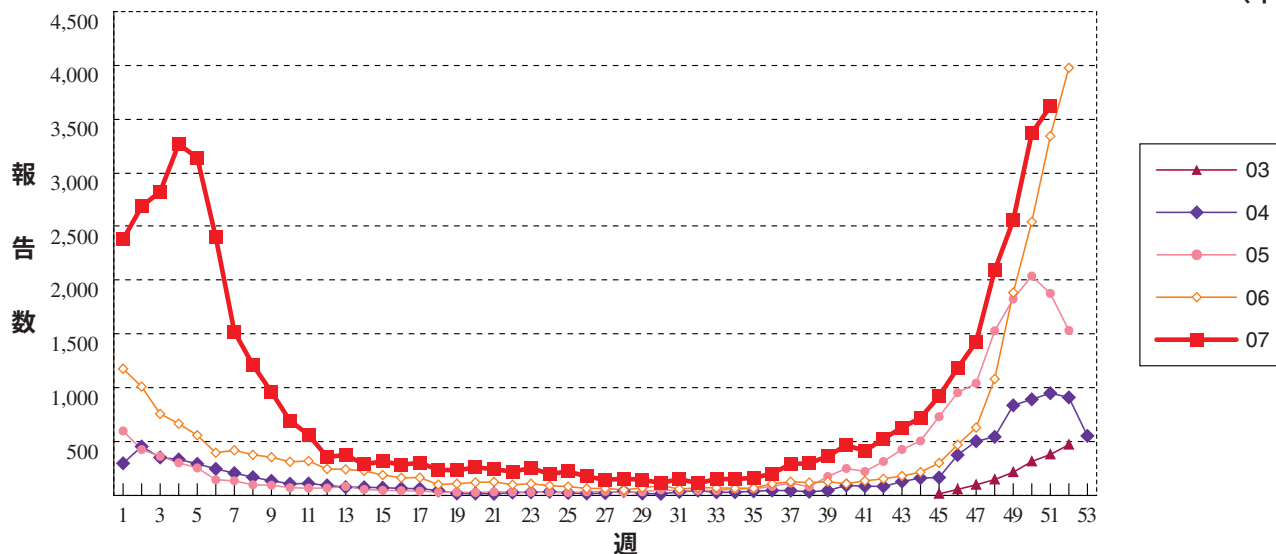
成人麻疹

(年)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





51週のデータ

注) 表中の報告数は12月26日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年51週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	299	19331
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	596
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	188
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	116
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	242
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	133
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	195
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	352
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	213
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	209
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1043
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	997
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	2919
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	1203
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	269
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	157
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	161
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	119
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	189
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	337
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	392
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	1364
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	305
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	173
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	481
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1695
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	662
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	210
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	175
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	99
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	256
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	424
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	200
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	150
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	260
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	128
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	934
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	355
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	138
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	174
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	181
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	288
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年51週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	12	5	445	15	4566	-	47	-	20	-	53	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	7	-	108	-	1	-	-	-	11	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	93	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	251	-	1	-	2	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	63	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	54	-	2	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	50	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	38	-	1	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	75	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	67	-	150	-	3	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	1	45	-	178	-	2	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	2	84	2	474	-	11	-	6	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	173	-	1	-	3	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	32	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	132	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	50	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	1	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	60	-	-	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	32	-	77	-	1	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	165	-	3	-	-	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	29	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	55	-	-	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	101	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	54	1	435	-	9	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	2	9	1	207	-	4	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	47	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	100	-	1	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	1	102	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	48	-	1	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	3	257	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	47	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	92	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	69	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	129	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサナル 森 林 病		Q 熱		狂 犬 病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	151	-	16	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
北海道	-	9	-	13	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	19	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
神奈川県	-	12	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 痘		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	328	-	87	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	8	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	23	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	2	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	45	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	鳥 インフルエンザ		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	4	93	1	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	3	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱		類 鼻 痘	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	3	1	51	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年51週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	10	643	-	32	-	-	6	763	3	228	-	213	-	6	2	143	1	94
北海道	1	32	-	-	-	-	1	25	-	5	-	12	-	-	-	3	-	6
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	27	-	3	-	2	-	-	-	1	-	2
秋田県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	10	-	-	-	-	1	5	-	1	-	5	-	-	-	-	-	2
福島県	-	12	-	-	-	-	-	7	-	3	-	3	-	-	-	2	-	1
茨城県	-	17	-	-	-	-	-	10	-	3	-	9	-	-	-	1	-	3
栃木県	-	4	-	1	-	-	-	8	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	11	-	-	-	-	1	5	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	-	30	-	1	-	-	1	28	-	1	-	11	-	-	-	4	-	5
千葉県	-	19	-	-	-	-	-	33	-	-	-	15	-	-	-	8	-	4
東京都	-	53	-	3	-	-	-	159	-	40	-	18	-	1	-	14	-	6
神奈川県	-	40	-	1	-	-	-	79	-	15	-	5	-	1	-	8	-	11
新潟県	-	20	-	1	-	-	-	3	-	-	-	7	-	1	-	5	-	2
富山県	1	15	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	2
石川県	-	13	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1	-	4	-	-
福井県	1	5	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-	-	1	1	1
長野県	-	14	-	-	-	-	-	14	-	6	-	3	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	18	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1
静岡県	2	29	-	1	-	-	-	23	-	3	-	2	-	-	-	4	-	3
愛知県	-	41	-	-	-	-	1	56	-	8	-	4	-	-	-	6	-	6
三重県	-	12	-	-	-	-	-	5	-	2	-	3	-	-	-	2	-	1
滋賀県	1	8	-	-	-	-	-	15	-	2	-	2	-	-	-	4	-	1
京都府	1	20	-	-	-	-	-	23	-	7	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	1	42	-	-	-	-	-	79	-	26	-	32	-	-	-	6	-	4
兵庫県	1	25	-	-	-	-	1	36	1	15	-	11	-	-	1	11	-	3
奈良県	-	3	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	7	-	5	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	2
岡山県	-	11	-	-	-	-	-	8	-	13	-	4	-	-	-	2	-	3
広島県	-	26	-	-	-	-	-	10	1	11	-	3	-	1	1	4	-	5
山口県	-	8	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8	-	-	-	4	-	1
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1
香川県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	2	-	1
愛媛県	-	7	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	1	-	-	-	6	-	1
福岡県	-	19	-	1	-	-	-	24	-	13	-	6	-	1	-	4	-	2
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
長崎県	-	8	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	9	1	3	-	1	-	-	-	2	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	2	-	4	-	-	-	5	-	2	-	19	-	-	-	1	-	3
鹿児島県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	3	-	3
沖縄県	-	7	-	19	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	12	1425	1	53	-	16	-	-	5	698	-	87	-	-	1	79	-	-
北海道	-	21	1	1	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	1	-	-
青森県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	15	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	1	1	-	-
福島県	-	8	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	19	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	21	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	18	-	-	-	1	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	33	-	-	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	54	-	3	-	1	-	-	1	23	-	4	-	-	-	-	-	-
東京都	8	490	-	18	-	3	-	-	1	154	-	1	-	-	-	17	-	-
神奈川県	-	89	-	8	-	1	-	-	1	43	-	6	-	-	-	17	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1	-	-
富山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	1	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	-	5	-	-
岐阜県	-	18	-	1	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	6	-	-
静岡県	-	35	-	-	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	5	-	-
愛知県	-	120	-	1	-	2	-	-	-	73	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	18	-	1	-	-	-	-	2	13	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	9	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	20	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	175	-	9	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	1	36	-	1	-	1	-	-	-	17	-	3	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	10	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	21	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	11	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	6	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	35	-	-	-	1	-	-	-	43	-	3	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	11	-	-	-	-	-	-	-	50	-	6	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	16	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	26	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	34028	7.18	958	0.32	6125	2.04	57080	18.99	6569	2.19	935	0.31	611	0.20	1658	0.55	78	0.03
北海道	3097	13.58	59	0.41	510	3.57	788	5.51	326	2.28	22	0.15	67	0.47	43	0.30	2	0.01
青森県	1428	22.31	52	1.27	56	1.37	318	7.76	55	1.34	18	0.44	12	0.29	14	0.34	-	-
岩手県	363	5.76	22	0.56	41	1.05	355	9.10	114	2.92	4	0.10	21	0.54	9	0.23	-	-
宮城県	857	8.93	16	0.27	144	2.40	1314	21.90	180	3.00	21	0.35	8	0.13	33	0.55	-	-
秋田県	106	1.93	18	0.51	84	2.40	721	20.60	54	1.54	10	0.29	29	0.83	16	0.46	-	-
山形県	63	1.31	7	0.23	86	2.87	556	18.53	76	2.53	9	0.30	15	0.50	32	1.07	1	0.03
福島県	378	4.73	17	0.35	153	3.19	746	15.54	172	3.58	1	0.02	4	0.08	50	1.04	1	0.02
茨城県	667	5.56	14	0.19	244	3.25	1008	13.44	78	1.04	15	0.20	8	0.11	32	0.43	-	-
栃木県	328	4.49	2	0.04	64	1.36	689	14.66	160	3.40	9	0.19	4	0.09	30	0.64	3	0.06
群馬県	272	2.75	12	0.20	89	1.46	1147	18.80	139	2.28	34	0.56	11	0.18	29	0.48	1	0.02
埼玉県	2926	12.14	36	0.24	450	2.94	3820	24.97	298	1.95	21	0.14	29	0.19	102	0.67	3	0.02
千葉県	2321	12.22	23	0.19	261	2.14	2648	21.70	342	2.80	38	0.31	33	0.27	58	0.48	11	0.09
東京都	2511	8.78	47	0.32	333	2.23	3137	21.05	245	1.64	29	0.19	34	0.23	71	0.48	7	0.05
神奈川県	3051	9.97	39	0.20	409	2.10	4252	21.81	411	2.11	35	0.18	24	0.12	135	0.69	-	-
新潟県	203	2.11	43	0.70	183	3.00	1077	17.66	251	4.11	15	0.25	81	1.33	35	0.57	1	0.02
富山県	240	5.00	9	0.31	118	4.07	640	22.07	44	1.52	7	0.24	1	0.03	15	0.52	-	-
石川県	70	1.46	14	0.48	104	3.59	765	26.38	165	5.69	4	0.14	3	0.10	12	0.41	-	-
福井県	175	5.47	15	0.68	50	2.27	583	26.50	59	2.68	-	-	15	0.68	10	0.45	-	-
山梨県	515	12.88	-	-	28	1.17	241	10.04	20	0.83	2	0.08	1	0.04	3	0.13	-	-
長野県	455	5.17	12	0.22	117	2.13	1001	18.20	180	3.27	22	0.40	8	0.15	33	0.60	3	0.05
岐阜県	230	2.67	11	0.21	39	0.75	590	11.35	55	1.06	17	0.33	1	0.02	17	0.33	10	0.19
静岡県	1407	10.74	7	0.08	189	2.20	2105	24.48	156	1.81	20	0.23	14	0.16	60	0.70	1	0.01
愛知県	581	2.99	33	0.18	332	1.83	3695	20.41	253	1.40	97	0.54	20	0.11	107	0.59	2	0.01
三重県	258	3.53	20	0.44	89	1.98	1311	29.13	121	2.69	19	0.42	14	0.31	29	0.64	-	-
滋賀県	187	3.53	9	0.28	48	1.50	683	21.34	60	1.88	15	0.47	3	0.09	15	0.47	2	0.06
京都府	227	1.85	5	0.07	81	1.09	1238	16.73	96	1.30	26	0.35	5	0.07	22	0.30	2	0.03
大阪府	1737	6.12	75	0.39	324	1.70	3038	15.91	329	1.72	48	0.25	29	0.15	110	0.58	3	0.02
兵庫県	2619	13.23	25	0.20	143	1.12	2417	18.88	236	1.84	21	0.16	24	0.19	50	0.39	2	0.02
奈良県	283	5.15	9	0.26	21	0.60	534	15.26	55	1.57	10	0.29	3	0.09	18	0.51	-	-
和歌山県	967	19.34	5	0.16	25	0.81	380	12.26	63	2.03	3	0.10	2	0.06	19	0.61	4	0.13
鳥取県	55	1.90	9	0.47	31	1.63	201	10.58	52	2.74	16	0.84	5	0.26	8	0.42	-	-
島根県	95	2.50	7	0.30	24	1.04	399	17.35	75	3.26	6	0.26	3	0.13	13	0.57	-	-
岡山県	1221	14.54	13	0.24	35	0.65	1083	20.06	67	1.24	9	0.17	12	0.22	14	0.26	1	0.02
広島県	1218	10.59	48	0.67	85	1.18	1228	17.06	184	2.56	19	0.26	4	0.06	47	0.65	2	0.03
山口県	597	8.53	21	0.43	193	3.94	1240	25.31	108	2.20	44	0.90	2	0.04	34	0.69	-	-
徳島県	273	6.50	2	0.09	23	1.00	419	18.22	42	1.83	6	0.26	-	-	10	0.43	1	0.04
香川県	468	9.75	12	0.41	13	0.45	363	12.52	44	1.52	8	0.28	2	0.07	14	0.48	2	0.07
愛媛県	386	6.33	5	0.14	95	2.57	1046	28.27	103	2.78	24	0.65	4	0.11	21	0.57	1	0.03
高知県	197	4.10	8	0.27	14	0.47	703	23.43	81	2.70	18	0.60	8	0.27	16	0.53	-	-
福岡県	273	1.38	48	0.40	296	2.47	2518	20.98	308	2.57	33	0.28	2	0.02	83	0.69	8	0.07
佐賀県	34	0.87	14	0.61	79	3.43	548	23.83	42	1.83	4	0.17	-	-	21	0.91	-	-
長崎県	22	0.31	20	0.45	39	0.89	947	21.52	94	2.14	3	0.07	2	0.05	22	0.50	1	0.02
熊本県	91	1.14	37	0.77	103	2.15	1105	23.02	87	1.81	12	0.25	-	-	46	0.96	-	-
大分県	151	2.60	16	0.44	84	2.33	1329	36.92	126	3.50	48	1.33	22	0.61	26	0.72	-	-
宮崎県	20	0.34	22	0.61	84	2.33	688	19.11	130	3.61	34	0.94	7	0.19	36	1.00	2	0.06
鹿児島県	154	1.66	18	0.32	85	1.52	1372	24.50	163	2.91	19	0.34	15	0.27	26	0.46	-	-
沖縄県	251	4.33	2	0.06	27	0.79	94	2.76	70	2.06	40	1.18	-	-	12	0.35	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2	0.00	144	0.05	46	0.02	931	0.31	11	0.02	405	0.61	12	0.03	7	0.02	216	0.47
北海道	-	-	2	0.01	24	0.17	23	0.16	1	0.03	12	0.41	-	-	-	-	6	0.26
青森県	-	-	-	-	3	0.07	8	0.20	-	-	13	1.18	-	-	-	-	7	1.17
岩手県	-	-	11	0.28	-	-	8	0.21	-	-	6	0.50	-	-	-	-	16	0.80
宮城県	-	-	1	0.02	-	-	17	0.28	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1.58
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	69	1.97	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.38
山形県	-	-	-	-	-	-	11	0.37	-	-	1	0.13	-	-	-	-	10	1.00
福島県	-	-	-	-	-	-	4	0.08	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	16	2.29
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	8	0.11	-	-	29	1.71	1	0.08	-	-	-	-
栃木県	-	-	6	0.13	-	-	24	0.51	-	-	4	0.33	1	0.14	-	-	8	1.14
群馬県	-	-	4	0.07	-	-	48	0.79	-	-	17	1.21	-	-	-	-	10	1.25
埼玉県	-	-	22	0.14	1	0.01	33	0.22	3	0.07	23	0.56	-	-	-	-	10	1.11
千葉県	-	-	11	0.09	1	0.01	46	0.38	2	0.07	11	0.39	-	-	-	-	3	0.33
東京都	-	-	10	0.07	-	-	39	0.26	1	0.03	25	0.66	-	-	-	-	8	0.36
神奈川県	-	-	7	0.04	10	0.05	33	0.17	-	-	37	0.95	1	0.13	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.03	-	-	71	1.16	-	-	8	0.73	-	-	-	-	12	1.00
富山県	-	-	-	-	-	-	7	0.24	-	-	4	0.57	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	-	-	1	0.03	-	-	3	0.43	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-	10	0.45	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	4	0.44	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	2	0.04	-	-	11	0.20	-	-	6	0.55	1	0.09	1	0.09	2	0.18
岐阜県	1	0.02	4	0.08	2	0.04	38	0.73	-	-	5	0.45	-	-	1	0.20	2	0.40
静岡県	-	-	3	0.03	-	-	28	0.33	-	-	9	0.45	1	0.11	-	-	4	0.44
愛知県	-	-	12	0.07	-	-	63	0.35	-	-	7	0.21	-	-	-	-	14	0.88
三重県	-	-	2	0.04	-	-	5	0.11	-	-	1	0.08	-	-	-	-	6	0.67
滋賀県	-	-	2	0.06	-	-	5	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
京都府	-	-	2	0.03	-	-	12	0.16	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	5	0.03	3	0.02	49	0.26	1	0.02	11	0.23	1	0.08	-	-	6	0.50
兵庫県	-	-	3	0.02	-	-	65	0.51	-	-	20	0.59	-	-	1	0.10	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	5	0.14	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	2	0.06	-	-	3	0.10	-	-	4	1.00	-	-	-	-	4	0.36
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-	1	0.20	3	0.60
島根県	-	-	-	-	-	-	3	0.13	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	-	-	3	0.06	-	-	6	0.11	-	-	3	0.25	-	-	-	-	7	1.40
広島県	-	-	1	0.01	-	-	8	0.11	-	-	17	0.89	1	0.05	-	-	7	0.33
山口県	-	-	3	0.06	-	-	11	0.22	-	-	3	0.33	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	-	-
香川県	-	-	3	0.10	-	-	2	0.07	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	6	0.16	-	-	7	0.88	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	1	0.03	-	-	23	0.77	-	-	6	2.00	-	-	1	0.14	-	-
福岡県	1	0.01	5	0.04	2	0.02	42	0.35	-	-	32	1.23	1	0.07	-	-	3	0.21
佐賀県	-	-	-	-	-	-	9	0.39	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33
長崎県	-	-	-	-	-	-	20	0.45	1	0.13	7	0.88	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	-	-	10	0.21	-	-	5	0.10	-	-	16	1.78	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	-	-	-	-	13	0.36	-	-	7	1.40	1	0.09	-	-	1	0.09
宮崎県	-	-	-	-	-	-	31	0.86	-	-	6	1.00	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	-	-	1	0.02	-	-	3	0.05	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	4	0.12	-	-	6	0.60	1	0.14	-	-	11	1.57

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年51週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	15	0.03	9	0.02	3620
北海道	-	-	2	0.09	163
青森県	-	-	-	-	32
岩手県	-	-	-	-	14
宮城県	1	0.08	-	-	85
秋田県	-	-	1	0.13	28
山形県	1	0.10	-	-	35
福島県	-	-	-	-	137
茨城県	-	-	-	-	21
栃木県	-	-	-	-	88
群馬県	-	-	-	-	59
埼玉県	-	-	-	-	104
千葉県	-	-	-	-	78
東京都	-	-	1	0.05	119
神奈川県	-	-	4	0.50	144
新潟県	5	0.42	-	-	59
富山県	-	-	-	-	5
石川県	-	-	-	-	37
福井県	-	-	-	-	10
山梨県	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	27
岐阜県	-	-	-	-	52
静岡県	-	-	-	-	58
愛知県	5	0.31	-	-	284
三重県	-	-	-	-	61
滋賀県	-	-	-	-	20
京都府	-	-	-	-	61
大阪府	-	-	-	-	440
兵庫県	-	-	-	-	198
奈良県	-	-	-	-	27
和歌山県	-	-	-	-	39
鳥取県	-	-	-	-	47
島根県	-	-	-	-	11
岡山県	-	-	-	-	64
広島県	-	-	-	-	140
山口県	-	-	-	-	111
徳島県	-	-	-	-	26
香川県	-	-	-	-	55
愛媛県	-	-	-	-	44
高知県	2	0.29	-	-	27
福岡県	-	-	1	0.07	205
佐賀県	1	0.17	-	-	51
長崎県	-	-	-	-	31
熊本県	-	-	-	-	154
大分県	-	-	-	-	28
宮崎県	-	-	-	-	79
鹿児島県	-	-	-	-	53
沖縄県	-	-	-	-	6

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年51週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						結 核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	51	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年51週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	5
北海道	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第9巻 第51号 2008年1月11日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。